

社会福祉法人むつみ福祉会

令和 3 年度 事 業 報 告

令和 4 年 5 月 26 日 第 194 回理事会にて承認

令和 4 年 6 月 9 日 第 117 回評議員会にて承認

【法人基調報告】

1 はじめに

令和3年度は、法人すべての事業で新型コロナウイルス感染拡大を念頭に置いた運営を余儀なくされた。それでも年度当初から常に意識しながらの運営であったため、大きな混乱もなく全事業所で安心して安全な事業展開ができた。特に、むつみグリーンハウス、あかもん、ティンクルなごやの3事業所では、通所あるいは入所される利用者に一人の感染者を出すことなく運営することができた。職員は、陽性診断を受けた職員が2名いたが、大事には至らず一定の隔離期間後に復帰できた。また濃厚接触者として診断されるなど、感染を疑われた職員は複数いたが、こちらも大事には至らなかった。

令和2年9月に発生したティンクルなごやの虐待事案について、発生から8ヶ月が経過した令和3年5月に保護者説明会を開催した。情報公開や報告が遅れたことの説明と謝罪、2度と虐待事案を発生させないための職員の意識改革や職場環境づくりの提言を行った。

またこのことをきっかけに、保護者の立場・視点での意見や助言をいただく場として、法人の設立母体である愛知県重症心身障害児(者)を守る会会長をお招きして懇談会を企画・開催することとなった。

2 既存事業所の安定した事業運営の推進・充実について

中区拠点事業所では、令和2年度に引き続き予算を意識した経営・運営に取り組んだ。月に1度の「経営戦略会議」で月次の収支状況把握を中心に、今後の経営に関わるテーマについて議論を重ねた。

令和3年度の高須拠点の事業活動資金収支差額は約3万円の黒字であった。令和2年度が約700万円の赤字から、思うように収入が確保できない中であって、努力の成果が伺える結果となった。また、令和元年度の高須拠点が約2600万円の赤字だったことから振り返ると、この3年度間で大幅に改善できたと言える。

大須拠点も、令和3年度は約229万円の黒字となり、令和2年度の約80万円の黒字からさらに増益となった。

結果、令和2年度同様に公益事業(日常生活用具取扱事業)と医療事業拠点(ティンクルなごや)の法人運営にかかる費用の負担(繰入)を加えると、約702万円の黒字となり、令和2年度の約130万円の黒字からの増益、且つ2年連続で黒字決算となった。

ティンクルなごやは指定管理料での運営となるため利用率や報酬を意識した事業運営ではないものの、長期入所の一日平均利用者数は、設定定員80名に対し令和3年度も72名超(利用率90%超)を維持できた。短期入所(ショートステイ)利用者は新型コロナウイルス感染拡大を意識した個室化工事等の影響で受け入れできない期間があるなど制限を余儀なくされたが、1日平均利用者数3.3人と令和2年度の一平均利用者数2.0人を上回ることができた。

3 公益を目的とする事業の取り組みについて

介護員養成研修事業は計画が大幅に遅れ、事業開始が令和 4 年の 3 月となった。定員 10 名に対して応募者も 1 名のみだったが、この 1 名がヘルパー登録の意思が強いことが確認できたため、予定通り開催した。研修修了は令和 4 年 5 月の予定である。

日常生活用具給付等取扱事業は、特に大きな問題もなく無事終了することができた。

4 人材確保・育成・定着

人材確保の観点では、令和 3 年度は例年と大きな変化はなく、ほとんどが退職者の補充であった。中区拠点事業所は 8 名の退職者(正規職員 2 名、非常勤職員 6 名)に対し採用者は 4 名(正規職員 1 名、非常勤職員 3 名)であった。ティンクルなごやは 16 名の退職者(正規職員 9 名、非常勤職員 7 名)に対し採用者は 11 名(正規職員 6 名、非常勤職員 5 名)であった。どちらの拠点も退職者数が採用者数を上回っているが、人員配置基準を下回るものではない。

育成の観点では、主にオンライン環境でそれぞれの事業所で求められる知識や技術の向上を目的とした研修に参加した。

定着の観点では大きな変化はない。

一方で、保育・福祉業界対象の新たな処遇改善策が国の指導で行われるなど、賃金ベースで職場環境の改善を工夫することが近年求められている。人材確保・育成・定着に利用できるように令和 4 年度以降に検討を進めていく。

5 地域における公益的取り組みの推進

コロナ禍の環境が大きく影響し、むつみグリーンハウスや中区障害者基幹相談支援センター、ティンクルなごやでは外部団体への事業所設備や場所提供は令和 2 年度に引き続きほとんど行えなかった。

そんな中、「コロナ禍でもできること」として、中区内の事業所では社会福祉士等の資格取得のための実習プログラムにオンライン実習を取り入れた。

また、介護福祉士養成校から依頼があり、ティンクルなごやの事業紹介をオンラインで実施した。医療行為を必要とする利用者が多いティンクルなごやでは、安心して安全な居住環境を提供することが最優先であるためコロナ禍での実習生の受け入れは極めて困難である。しかしオンライン環境を工夫することで情報発信できることを考える良いきっかけとなった。担当したスタッフたちの努力もあり、事業紹介の内容もとても高評であった。

6 新規整備事業の推進

令和 3 年度中の新規整備協議申請は見送ったが、名古屋市や国の動向、新型コロナウイルス感染症拡大状況など社会情勢の総合的見地から、令和 4 年度に新規整備事業申請に向けた準備を開始した。

7 法人全体の安定経営の再構築

令和3年度も改善はみせたものの、中区拠点事業所の利用率の低下・人件費の増加による収益悪化の状態の打開策は見いだせていない。喫緊の課題ではあるものの、長期の安定経営に繋げられるように令和4年度も引き続き検討を続ける。

8 女性活躍推進法及び次世代育成支援対策推進法の一般事業主行動計画の策定

女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（平成27年法律第64号）及び次世代育成支援対策推進法（平成15年法律第120号）に基づく一般事業主行動計画を法人全体の状況を考慮したうえで策定した。計画期間は令和4年4月1日から令和7年3月31日の3年度間。

策定した一般事業主行動計画は、愛知労働局への届出後に厚生労働省が管理するWebサイト「女性の活躍・両立支援総合サイト」で公表することとした。

9 事業の実施状況

(1) 第一種社会福祉事業

① 医療型障害児入所施設

「名古屋市重症心身障害児者施設」（定員90名）

＊ 名古屋市北区平手町一丁目1-5

(2) 第二種社会福祉事業

① 生活介護

「むつみグリーンハウス」（定員60名）

② 居宅介護、重度訪問介護、同行援護及び行動援護

「なごみ居宅サポートセンター」

③ 移動支援

「なごみ移動サポートセンター」

④ 計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援及び地域定着支援

「障害者相談センター一歩」

＊ 以上4事業は、名古屋市中区古渡町9-18

⑤ 療養介護

「名古屋市重症心身障害児者施設」（定員90名）

⑥ 短期入所

「名古屋市重症心身障害児者施設」（定員90名）

＊ 以上2事業は、名古屋市北区平手町一丁目1-5

⑦ 計画相談支援、障害児相談支援、地域移行支援及び地域定着支援

「名古屋市中区障害者基幹相談支援センター」

⑧ 精神障害者地域活動支援事業

「あかもん」

＊ 以上2事業は、名古屋市中区大須四丁目10-85

10 理事会の運営状況

(1) 令和3年度は任期満了による役員改選が行われた。結果、理事1名、監事1名が退任しそれぞれの後任者が選任された。

理事長には、互選の結果水谷理事が就任した。富田前理事長は顧問に就任した。

(2) 顧問、役員名簿(*1 役員定員は6名以上【定款第17条】)(*令和4年3月末日現在)

役 職	氏 名	資格など	任 期	備考
顧問	野瀬武敬	元 むつみ福祉会理事長	令和5年4月1日以降の最初の定時評議員会終結の時まで	再任
顧問	富田偉津男	前 むつみ福祉会理事長	令和5年4月1日以降の最初の定時評議員会終結の時まで	新任

役 職	氏 名	役員の資格など	任 期	備考
理事長	水谷正人	社会福祉事業の経営に関する識見を有する者	令和5年4月1日以降の最初の定時評議員会終結の時まで	再任 (理事長新任)
理 事	原山剛三	学識経験者	同上	再任
理 事	丸山秀樹	当該社会福祉法人が行う事業の区域における福祉に関する実情に通じている者	同上	再任
理 事	彦坂 亮	同上	同上	再任
理 事	高嶋みえ	同上	同上	再任
理 事	山下伸子	当該施設の管理者	同上	再任
理 事	杉野考利	当該施設の管理者	同上	再任
理 事	内藤志保	当該社会福祉法人が行う事業の区域における福祉に関する実情に通じている者	同上	新任
理 事	富田偉津男	—	—	退任

役 職	氏 名	監事の資格など	任 期	備考
監 事	熊崎正実	社会福祉事業について識見を有する者	令和5年4月1日以降の最初の定時評議員会終結の時まで	再任
監 事	山田美帆	財務の管理について識見を有する者	同上	新任
監 事	尾崎秀明	—	—	退任

(3)理事会の開催状況

187 回	R3.5.26(水)	18:00～19:40	【議案】 1 令和 2 年度事業報告 2 令和 2 年度決算報告 3 役員の推薦 4 評議員の選任候補者の推薦、並びに評議員選任・解任委員会の招集、開催 5 名古屋市重症心身障害児者施設の個室化工事契約の変更 6 名古屋市重症心身障害児者施設の職員制服賃貸借委託契約 7 定時評議員会招集事項 【報告】 1 理事長の業務執行状況報告（3 月～4 月） 2 ティンクルなごやの保護者説明会
188 回	R3.6.11(金)	18:00～19:30	【議案】 1 理事長の互選 2 顧問委嘱の同意 3 評議員選任・解任委員の選任 4 定款変更 5 各種規程の変更（役員等報酬規程、職務権限規程、法人理事長印出納印管理規程、本部事務局運営規程） 6 令和 3 年度補正予算 7 評議員会招集事項 【報告】 1 ティンクルなごやの保護者説明会
189 回	R3.8.30(月)	省略	【議案】 1 賞罰委員会の処分案の承認について
190 回	R3.9.16(木)	18:00～19:00	【議案】 1 令和 3 年度補正予算 2 各種規程の変更（定款施行細則、評議員会運営規程、理事会運営規程、職務権限規程、中区拠点事業所給与規程） 3 ティンクルなごやの業務委託契約 4 評議員会招集事項

			【報告】 1 新型コロナウイルス感染症について 2 ティンクルなごやの虐待事案に関するその後の対応等 3 ティンクルなごやの組織変更 4 利用者視点に立った事業所運営の在り方 5 ティンクルなごやの個室化工事契約締結 6 理事長の業務執行報告（6月～8月） 7 事業報告（4月～7月）
191 回	R3.12.9(木)	18:00～19:00	【議案】 1 ティンクルなごやの業務委託契約 2 ティンクルなごやの入札計画承認 【報告】 1 新型コロナウイルス感染症について 2 理事長の業務執行報告（9月～11月） 3 愛知県重症心身障害児（者）を守る会会長との懇談会 4 事業報告（4月～10月） 5 上半期執行状況
192 回	R4.3.17(木)	18:00～19:30	【議案】 1 令和3年度補正予算（案） 2 令和4年度事業計画（案） 3 令和4年度予算（案） 4 女性活躍推進法及び次世代育成支援対策推進法の一般事業主行動計画（案） 5 各種規程の変更 6 ティンクルなごや業務委託契約 7 評議員会招集事項 【報告】 1 理事長の業務執行報告（12月～2月） 2 愛知県重症心身障害児（者）を守る会会長との懇談会 3 新規整備事業 4 事業報告（4月～1月） 5 修繕積立資産取崩し報告
193 回	R4.3.28(月)	省略	【議案】

			1 ティンクルなごやの賃貸借契約について
--	--	--	----------------------

5 評議員会の運営状況

(1))令和3年度は任期満了による評議員改選が行われた。理事会の推薦後、評議員選任・解任委員会が開催され新たな評議員が選出された。結果、2 名が退任、1 名が新任された

(2) 評議員名簿(*1 定員は 7 名以上【定款第 5 条】)(*2 令和 4 年 3 月末日現在)

役 職	氏 名	評議員の資格等	任 期	備考
評議員	福村眞紀子	社会福祉法人の適正な運営に必要な 識見を有する者	令和 7 年 4 月 1 日以降の最初の定時評 議員会終結の時まで	再任
評議員	野村敬子	同上	同上	再任
評議員	加藤和雄	同上	同上	再任
評議員	西澤有子	同上	同上	再任
評議員	浅井清正	同上	同上	再任
評議員	戎 弘志	同上	同上	再任
評議員	田中 巖	同上	同上	再任
評議員	谷江武士	同上	同上	再任
評議員	大下誠史	同上	同上	再任
評議員	大塚良孝	同上	同上	新任
評議員	平賀貴光			退任
評議員	立松 博			退任

(3)評議員会の開催状況

113 回	R3.6.10(木)	18:00～19:20	【議案】 - 令和 2 年度事業報告 - 令和 2 年度決算報告 - 役員の選任 【報告】 - ティンクルなごやの保護者説明会
114 回	R3.6.24(木)	18:00～19:00	【議案】 - 定款変更 - 役員等報酬規程 - 令和 3 年度補正予算 【報告】 - ティンクルなごやの保護者説明会
115 回	R3.9.24(金)	省略 *新型コロナウイルス感染拡大防止のため	【議案】 - 令和 3 年度補正予算 【報告】 - 新型コロナウイルス感染症について - ティンクルなごやの虐待事案に関するその後の対応等 - ティンクルなごやの組織変更 - 利用者視点に立った事業所運営の在り方 - 事業報告（4 月～7 月）
116 回	R4.3.25(金)	18:00～19:00	【議案】 - 令和 3 年度補正予算 - 令和 4 年度事業計画 - 令和 4 年度予算 【報告】 - 新規整備事業 - 修繕積立資産取崩し報告 - 事業報告（4 月～1 月）

【生活介護事業所 むつみグリーンハウス】

1 総論

この1年を通して、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、感染対策を取りながらの活動を行ってきた。また、利用者や家族が安心して通所できるよう迅速な対応、情報発信を心掛け、コロナ禍でも充実した日中活動が行えるよう取り組んできた。結果、利用者や家族、職員ともども体調を大きく崩すことはなく、新型コロナウイルス感染症が理由で閉所となることもなく過ごすことができた。

作業に関しては、受注量の低下を防ぐため営業や情報発信を行い、売り上げ・工賃の維持ができた。また、日中の活動では、取り組みの見直しややり方を工夫することで、令和2年度に比べると多くの取り組みや行事を実施することができた。

利用状況は、新型コロナウイルス感染拡大に伴う利用の自粛や、濃厚接触者と診断されて自宅待機を余儀なくされるなどが複数生じたものの、概ね予定通りの利用状況であった。

【令和3年度登録者数と利用実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
登録者数		62	62	62	61	61	61
開所日数(土曜日・祝日)		22(0)(1)	23(2)(3)	22(0)(0)	23(1)(2)	23(1)(1)	22(0)(2)
1日の平均利用人数		36.4人	31.4人	36.0人	33.7人	28.9人	31.5人
内訳	2F 平日延べ人数(平均)	337(16.0)	290(16.1)	354(16.1)	323(16.2)	317(15.1)	304(15.2)
	3F 平日延べ人数(平均)	442(21.0)	339(18.8)	437(19.9)	391(19.6)	333(15.9)	343(17.1)
	2F 土曜延べ人数(平均)	0	18(9.0)	0	11(11.0)	10(10.0)	0
	3F 土曜延べ人数(平均)	0	14(7.0)	0	5(5.0)	7(7.0)	0
	2F 祝日延べ人数(平均)	14(14.0)	42(14.0)	0	33(16.5)	12(12.0)	0
	3F 祝日延べ人数(平均)	8(8.0)	19(6.3)	0	13(6.5)	6(6.0)	0
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者数		61	61	61	61	62	62
開所日数(土曜日・祝日)		23(2)(0)	22(0)(2)	22(3)(0)	23(3)(1)	20(0)(2)	22(0)(1)
1日の平均利用人数		32.8人	35.0人	34.3人	32.4人	34.2	36.1
内訳	2F 平日延べ人数(平均)	334(15.9)	322(16.1)	317(15.9)	314(16.5)	327(18.2)	388(17.6)
	3F 平日延べ人数(平均)	391(18.6)	403(20.2)	388(20.4)	375(19.7)	359(19.9)	443(20.1)
	2F 土曜延べ人数(平均)	19(9.5)	0	32(10.7)	30(10.0)	0	0
	3F 土曜延べ人数(平均)	10(5.)	0	18(6.0)	20(6.7)	0	0
	2F 祝日延べ人数(平均)	0	31(15.5)	0	17(17.0)	28(14.0)	18(18.0)
	3F 祝日延べ人数(平均)	0	13(6.5)	0	6(6.0)	15(7.5)	6(6.0)

作業型は1日平均利用人数（土曜・祝日開所を除く）19.3名（前年度16.3名）、日中活動型は1日平均利用人数（土曜開所を除く）16.2名（前年度15.8名）であった。

*参考：直近３年度の延べ利用人数

	令和元年度 (268 日開所)	令和２年度 (268 日開所)	令和３年度 (268 日開所)
作業型	5,221	4,909	4,788
日中活動型	3,699	4,081	4,212
合 計	8,920	8,990	9,000

2 作業型(3F)

1) 作業

新型コロナウイルス感染症の影響を考え、昨年に引き続き新たな下請け作業受注が可能であることの情報発信や木工製品等の自主製品販売の営業活動を行った結果、１年通して利用者に作業を提供し続けることができた。また、加工製品の納品やアルミ缶回収など、コロナ禍での感染対策を講じて外出する機会を減らさないよう工夫した結果、地域との繋がりや社会参加していることを利用者が実感することができた。

【参考：直近３年度の利用者の平均工賃】(単位：円)

	令和２年度	令和３年度
総売上	1,857,691	1,928,594
工賃	1,444,835	1,041,498
1人当たりの平均	45,151	35,913

2) 行事・取り組み

感染対策を講じることで実現可能な行事や取り組みについては、工夫して実施した。行事に対する利用者の期待は大きく、実施できたものは利用者一人ひとりが楽しむことができ、充実したものとなった。また取り組みについても、少人数での活動を原則として実施した。令和２年度よりも多く実施することができた。

3 日中活動型(2F)

1) 日中活動

個々の利用者の状態やニーズに応じたメリハリのあるプログラム（午前は活動的プログラム、午後はリラックスできるプログラム）を設定した。特に医師・理学療法士・サービス管理責任者・担当職員と、利用者本人・保護者とで連携してリハビリ計画書を作成し、利用者の身体機能維持・向上を目的とした個々の障害に応じた体操を実施することができた。

障害が重い利用者や医療ケアの必要な利用者が多いにもかかわらず、専門的な知識や技術を持つ職員が少ないため、職員一人ひとりが関連する研修行くことで知識、技術を身に付け、適切なケアをすることができた。

2) 行事・取り組み

感染拡大時には活動を縮小することもあったが、感染対策や活動を工夫することで昨年度よりも多く行事や取り組みを行うことができた。春には入所式、夏には納涼祭、秋には芋ほり、冬にはお楽しみ会と季節を感じられる活動ができ、利用者一人ひとり楽しく過ごせた。

4 祝日開所

令和3年度も作業型の利用者のニーズは低かったが、日中活動型の利用者のニーズは高かった。日中活動型の方は、利用曜日以外の希望もあったため、できる限りの受け入れができるよう工夫した。結果、ほぼ平日同様の利用人数であった。

5 嘱託医との連携

月に1度の診察を実施することができ、利用者の健康状態の把握ができた。

インフルエンザやノロウイルスなど、季節的に流行が予見できる病気に対する積極的な注意喚起や予防の啓発により、令和3年度も流行性の疾患で休む利用者はほとんどいなかった。新型コロナウイルスについても、感染症の市中の状況や感染対策の方法を確認・相談を行うことで、事業所内で常に注意喚起できる環境を整えることができた。

6 人材育成

令和3年度も社会福祉士の実習生を中心に資格取得のための実習生を受け入れた。

新型コロナウイルス感染症対策を講じ、リモート実習を組み入れるなど工夫したプログラムを養成校側と協議し、実施することができた。

【居宅介護支援事業所 なごみ居宅サポートセンター】

【移動支援事業所 なごみ移動サポートセンター】

1 総論

令和３年度も居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護、及び移動支援を行なった。総じてどのサービスも大きな事故なく提供することができた。

利用登録者数は微増だが、利用率は減少した。職員の勤務体制を整理したことで、事業開始以来初めてとなる深夜サービスを２件契約できた一方、年度途中に長時間契約の重度訪問介護利用者のサービスが終了したこと、その後の新規利用者獲得が難航した。

新型コロナウイルス感染症の影響から予定されていたサービスのキャンセルも多く、緊急事態宣言時のサービスの中止や集団外出を全面中止するなど計画変更を余儀なくされた。また、利用者だけではなくサービスを提供する職員の方が濃厚接触者の判定を受けてサービスに入れなかったこともあった。これらのことが総じて利用率減少の要因となった

介護員養成研修事業終了後、新規登録ヘルパー１名を確保できた。その１名には、むつみグリーンハウス利用者の重度訪問介護や地域の利用者のサービス（居宅介護）を担当してもらうことができた。

2 介護員養成研修事業

新型コロナウイルス感染者拡大状況を考慮し、年度末の令和４年３月からの事業開始となった。申込予定者は当初３名の候補があったが、結果的に１名のみの参加となった。それでもこの１名が終了後にヘルパー登録の意思が強いことを確認し、開講した。

3 事業実績

(１) 契約者数４３名（令和２年度４０名）＊むつみグリーンハウス利用者２３名

(２) 対象者 ※〔 〕 単独手帳所持者

身体障害	知的障害	障害児	精神障害
33〔14〕	24〔8〕	0	2〔1〕

(３) 事業の実施地域(名古屋市全域)

中区	中川区	昭和区	北	港区	東区	計
16	4	4	3	6	2	43
熱田区	千種区	中村区	守山区			
1	3	3	1			

【障害者相談センター 一步】

1 基本相談支援

令和3年度の職員体制は、相談支援専門員3名(常勤1名、非常勤2名)体制で開始し、お互いのケースの状況を共有しながら取り組んだ。また、10月から非常勤スタッフが人事異動で抜け、相談支援専門員2名(常勤1名、非常勤1名)となったが、年度当初から予定されていた人事異動であったため、ケースの引継ぎなど大きな混乱なく行えた。また1年を通して新型コロナウイルス感染症対策を講じながらの業務となったため、面会時は密を避け、電話での聞き取り回数を増やすなど工夫をした。

一方、令和3年度は緊急な支援を必要とするケースが重なることが多く、その対応に時間がかかった。また年度末での非常勤職員の退職が決定し、下半期は多忙であった。

近年の傾向として、家族の高齢化で「親亡き後のサービス利用方法」を検討しなければならないケースや、精神疾患や精神障害がある方の相談が増えている。

2 計画相談

令和3年度末時点で契約数は122名で、令和2年度に比べ3名減少した。内訳は新規契約3名に対し契約解除6名であった。それでも認定調査(障害支援区分の更新)の年に当たる利用者が多かったため、計画作成件数が増えた。

計画作成(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
16	12	6	12	15	6	8	8	10	11	12	14	121

前年度実績(令和2年度) 101件

モニタリング(件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	21	26	29	21	32	28	24	23	25	18	19	291

前年度実績(令和2年度) 306件

契約者地域(名古屋市) 令和3年度末

中区	昭和区	千種区	名東区	港区	熱田区	瑞穂区	北区
47	6	7	0	8	4	4	5
西区	東区	南区	天白区	緑区	中村区	中川区	守山区
9	5	3	4	1	3	10	3

契約者地域（名古屋市以外） 令和3年度末

東海市	蟹江町	一宮市	契約者数
1	1	1	122

前年度契約者数（令和2年度） 125名

障害種別（令和3年度末）

身体障害者	知的障害者	精神障害者	発達障害	難病	児童
85	93	19	4	1	1

※身体障害と知的障害の重複している方が69名

身体障害と精神障害の重複している方が2名

難病と知的障害の重複している方が1名

精神障害と発達障害の重複している方が4名

3 一般相談支援

令和3年5月から一般相談支援の指定を取得した。地域移行や地域定着の利用希望者が多いことは把握できていたものの、令和3年度は契約至らなかった。

利用者本人の希望だけでは成就できないこと、利用者本人を取り巻く関係者の協力やネットワークの構築が必要不可欠な事業であることなどをあらためて認識できたので、令和4年度以降の事業運営の糧としたい。

4 中区障害者自立支援連絡協議会への参加

相談支援部会を中心に定期的に開かれる部会に参加し、相談支援業務に必要な情報の収集や課題共有を心がけた。下半期に入ると業務多忙で参加ができない事もあった。

【中区障害者自立支援連絡協議会】

4月19日	相談支援部会①	10月18日	相談支援部会⑦ サービス管理責任者（A型・就労移行）との意見交換会
5月17日	相談支援部会②	11月15日	相談支援部会⑧ サービス管理責任者（就労B型、生活介護 地域活動支援事業所）との意見交換会
6月21日	相談支援部会③	12月20日	相談支援部会⑨ 一歩欠席
7月20日	相談支援部会④	1月7日	相談支援部会⑩ 児童部会との合同 児童発達支援管理責任者との意見交

			換会 一歩欠席
8月16日	相談支援部会⑤	2月21日	相談支援部会⑪ 一歩欠席
9月21日	相談支援部会⑥	3月22日	相談支援部会⑫ 一歩欠席
10月7日	相談支援部会（臨時） 一般相談支援について		

5 職員研修・人材育成

法人内研修（相談支援部門研修）は令和3年度は行われなかった。

定例研修はなかったものの、5月の一般相談事業所の指定取得に合わせて、一般相談支援のケース概要や地域包括ケアシステム等について教えてもらう機会を設けるなど、スポット的な研修の機会は作ることができた。

外部研修への参加もできなかった。それでも、コロナ禍でスタンダードになったオンライン環境を活用し、他の相談機関とのネットワークづくりを図った。また、必要に応じてケース等で思い悩んだ際は、基幹相談支援センターや他の相談機関に適宜相談し、利用者のニーズの充足にむけ最善な支援が行えた。

【中区障害者基幹相談支援センター】

1 総論

令和3年度は名古屋市より令和元年度から令和5年度までの5年間の業務委託を受けた中で3年目の年度であった。新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインを活用した会議や研修に切り替えられるよう対策・準備を行なったことで基幹センターが企画する協議会や各種会議を計画通り行うことができた。また、外部が企画する各種会議や研修会などについてもオンラインを活用するケースが増えたことで、令和2年度のような混乱なく、1年間活動することができた。

2 事業内容

(1) 総合相談

令和2年度と比較し、相談者の年間累計が約60名増加し、障害種別としては「精神障害」と「発達障害」の相談者が顕著に増えている状況となった。相談内容としては「障害福祉サービス等に関する支援」の伸びが顕著で、次いで「不安の解消・情緒安定に関する支援」が増えた状況となった。

(2) 処遇困難な障害者（児）への相談支援（計画相談）

計画相談については、新規登録が3件（身体、精神、児童）であった。内訳としては「セルフプランからの切り替え」「5年以上基本相談で支援をしていた方」「現在3名の児童の対応をしている家族の追加」であった。

契約解除については、「契約者の死去」「生活が安定したことで特定相談事業所へのシフト」であった。全体的は大きなトラブルなく、サービス等利用計画の実績についても大きな変化はなかった。

【サービス等利用計画】 ※（ ）は児童

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画案	0	1	4	2	1	2	0	4 (3)	0	1	2	3	20 (3)
本計画	2 (1)	0	0	4	1	1	0	0	4 (3)	0	1	1	14 (4)
モニタリング	5	8 (3)	3	4	9 (3)	5	4	4	7	4	5 (2)	4 (1)	62 (9)
合計	7	9	7	10	11	8	4	8	11	5	8	8	96 (16)

令和2年度 合計実績 97件
令和元年度 合計実績 118件

【契約者数】令和4年3月末現在（契約者数 17名） ※重複障害者 1名

障害種別	契約者数	居住地
身体障害	6名	中区6名
知的障害	3名	中区3名
精神障害	4名	中区4名
児童	4名	中区4名

（3）地域環境作り（人材育成）

令和2年度が新型コロナウイルス感染症の影響で約3割が中止となったことを受け、令和3年度はオンラインを活用することで活動が中止になることなく計画通り実施することができた（48回中オンライン38回）。

新たな取り組みとしては「多職種との交流（相談員とサビ管との交流会など）」「権利擁護（当事者からの話を聞く研修会）」「地域啓発（学区訪問）」などネットワークの強化や障害の理解（啓発）を目的にした活動を実施した。

② 自立支援連絡協議会全体の活動状況

部会名	計画回数	開催回数
全体会	2回	2回（※オンライン2回）
運営会議	6回	6回（※オンライン4回）
相談支援部会	13回	13回（※オンライン13回）
福祉ふれあいサポーター部会	10回	10回（※オンライン7回）
広報部会	5回	4回（※オンライン2回）
ネットワーク部会	7回	7回（※オンライン7回）
児童部会	6回	6回（※オンライン4回）
合計	48回	48回（※オンライン38回）

（4）人材育成

区内の特定相談事業所に対してアンケートや訪問するなどの方法で状況確認や課題の整理、困っているケースに対する助言などを行なった

【訪問ヒアリング】 計10回

日時	事業所名
3月16日	BRANCO
3月17日	はぴり
3月17日	REN
3月23日	あんあん居宅介護支援事業所
3月23日	マーム
3月23日	La・まるKu
3月24日	中央療育センター

3月25日	エコスマイル
3月25日	ヨナワールド
3月31日	一歩

【相談支援従事者初任者研修における実習受入】 3事業所4名

日 時	活動内容
10月22日	エコスマイル、ネクストステージ、クローバー

(5) 地域移行・地域定着支援

地域移行支援については、令和2年度に精神科に入院中の方の契約を1件行なっているが、新型コロナウイルス感染症の影響により「本人との対面での面談の中止」「外出の禁止」「グループホームの体験の中止」「本人の体調不良」などを理由に必要な支援が行えない状況になり、支援がストップしている状況となった。

精神に障害がある方の地域移行・地域定着を円滑に進められるような仕組みについては、オンラインを使用することで「支援地域東ブロック調整会議」「広域アドバイザー会議」ともに、中止になることなく行なうことができた。

精神障害者ピアサポーター活用事業については、あかもんの利用者から初めてピアサポーター登録を行なった。登録後、第1回目の活動としては自立支援連絡協議会の研修会（精神障害者の理解を深めるための研修会）に講師役として参加し、本人のこれまでの生活体験を中心に話をした。その際、ピアサポーター支援者として、鶴舞こころのクリニックのスタッフも同席することで、当事者と支援者の両方の視点での話をすることができた

契約者数 1名（実績 0件）

令和2年度契約者数 1名（実績 0件）

令和元年度契約者数 1名（実績 2件）

【支援地域東ブロック調整会議】 計8回

日 時	活動内容
6月9日	第1回東ブロック調整会議代表者会（※オンライン）
7月27日	第1回支援地域東ブロック調整会議（※オンライン）
10月7日	第2回東ブロック調整会議代表者会（※オンライン）
10月8日	第1回住まい確保グループ会議（※オンライン）
11月24日	第2回支援地域東ブロック調整会議（※オンライン）
12月9日	第4回名古屋市精神障害者支援地域調整会議
1月28日	第3回東ブロック調整会議代表者会（※オンライン）
2月28日	第3回支援地域東ブロック調整会議（※オンライン）

【広域アドバイザー会議】 計 4 回

日 時	活動内容
5月12日	第1回アドバイザー・都道府県等担当者合同会議（※オンライン）
7月26日	第1回精神障害者にも対応した地域ケアシステム構築支援事業広域アドバイザー現地支援（※オンライン）
11月30日 ～12月6日	多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築支援研修（※オンライン）
12月7日	アドバイザースキルアップ研修（※オンライン）

【精神障害者ピアサポーター活用事業】

登録者 1名（新規）

【活動】 計 1 回

日 時	活動内容
12月2日	中区障害者自立支援連絡協議会 ネットワーク部会 「精神障害者の理解と配慮について当事者から学ぶ」

(6) 権利擁護

【虐待相談件数】

虐待通報としては3件あり、通報内容としては「心理的虐待」「経済的虐待」であった。どのケースも速やかに区役所に報告を行ない、連携を取りながら対応した。また、経済的虐待のケースについては、「住む場所」「生活保護申請」「働く場所」「相談事業所」など生活全般の調整を行なった。

受付件数： 3件

令和2年度受付件数 5件

令和元年度受付件数 2件

【差別相談件数】

受付件数： 0件

令和2年度受付件数 1件

令和元年度受付件数 0件

【虐待防止委員会（準備委員会）】

令和4年4月から虐待防止委員会を設置することができるよう虐待防止委員会の準備委員会を9月より月1回実施した。メンバーとしては「本部事務」「基幹センター」「あかもん」「グリーンハウス」「なごみ」「一歩」代表が集まり、虐待防止法や虐待の定義の確認、虐待案件の検証などを行なった

日時			
9月14日 10月27日	11月24日 1月26日	12月22日 2月24日	3月17日

(7) 障害支援区分認定調査

障害支援区分認定調査については、管轄の中区以外の北区の応援も引き続き行なった

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
中区	16	12	23	19	22	15	20	13	21	15	15	14	205
北区	6	2	1	2	3	6	4	2	11	3	2	3	45
合計	22	14	24	21	25	21	24	15	32	18	17	17	250

令和2年度実績 195件

令和元年度実績 245件

(8) 障害者賃貸住宅入居等サポート事業による入居支援

実績： 1件

令和2年度実績 0件

令和元年度実績 2件

(9) 障害者自立支援配食サービスのアセスメント等

	身体	知的	精神	難病	合計
新規	4	0	7	1	12
再アセスメント	11	4	11	0	26
合計	15	4	18	1	38

令和2年度実績 31件

令和元年度実績 26件

(10) 障害者サロン（よりみちサロン）

【よりみちサロン】 開催回数3回（中止8回）

日 時	活動内容	日 時	活動内容
4月24日	※中止(コロナウイルス感染症拡大予防の為)	10月23日	音楽鑑賞
5月22日		11月27日	音楽鑑賞、イラスト作り
6月26日		12月25日	クリスマスミニゲーム
7月24日		1月22日	※中止(コロナウイルス感染症拡大予防の為)
8月28日		2月26日	
9月25日		3月26日	

※コロナウイルス対策のため、グループをA、Bの二つに分け人数制限を行なった

【ふれんず】 計1回（中止3回）

日 時	活動内容
4月23日	ボラネットなかまんなか連絡会 ※中止(コロナウイルス感染症拡大予防の為)
8月30日	ボラネットなかまんなか連絡会 ※中止(コロナウイルス感染症拡大予防の為)
11月11日	ボラネットなかまんなか連絡会
1月5日	中区ボランティア交流会 ※中止(コロナウイルス感染症拡大予防の為)

(11) 区内・市内の各種会議への参加

【区内活動】 計4回

日 時	活動内容
8月4日	第4次地域福祉活動計画 推進チーム会議
10月6日	第4次地域福祉活動計画 推進チーム会議
12月8日	第4次地域福祉活動計画 推進チーム会議
2月28日	橘学区地域支えあい活動連絡会議

【基幹相談支援センター関係会議等】 計14回

日 時	活動内容
5月28日	第1回障害者基幹相談支援センター運営・調整会議（※オンライン）
6月10日	第1回名古屋市自立支援連絡会準備会（※オンライン）
5月25日	第1回東ブロック会議（※オンライン）
7月1日	第1回障害児相談支援運営連絡会
7月15日	第2回東ブロック会議
8月2日	第1回名古屋市自立支援連絡会（※オンライン）
11月1日	第2回障害者基幹相談支援センター運営・調整会議

12月13日	第2回障害児相談支援運営連絡会
12月23日	第2回名古屋市自立支援連絡会
11月24日	第3回東ブロック会議
2月21日	第3回障害者基幹相談支援センター運営・調整会議
12月1日	第4回東ブロック会議
2月4日	第5回東ブロック会議
3月28日	第3回名古屋市自立支援連絡会

(12) 講師派遣

【講師派遣等】 計8回

日 時	活動内容
6月16日 7月14日	愛知県相談支援従事者現任研修 演習講師
8月26日 8月27日 10月6日 11月4日 11月5日	愛知県相談支援従事者初任者研修 演習講師
10月14日	名古屋市障害福祉サービス事業新規参入者研修

3 職員研修・人材育成

法人内研修としては「基幹相談センター、あかもん、グリーンハウスの合同研修会」を中心にしながら臨時で「虐待研修」「ZOOM 研修」を行なった。合同研修については事例検討をベースにしながら「司会」「書記」「事例提供者」などの役割を設定し、年間を通して繰り返し研修を行なった。

法人内で獲得することが困難な内容については、32 回に及び外部の研修に積極的に参加することでスキルアップの向上に努めた。

【研修】 計3回

日 時	活動内容
7月16日	ティンクルなごや虐待案件について
10月12日 10月14日	ZOOM 使用方法について 講師「ラディックス」

【合同研修】（基幹相談支援センター＋あかもん＋グリーンハウス） 計6回

日 時	活動内容	日 時	活動内容
4月14日	事例検討会 「うつ病」 「胃がん」	10月13日	事例検討会 「ピエールロバン症候群」 「知的障害」
6月9日	事例検討 「知的障害」	12月8日	事例検討会 「身体障害（体幹機能障害）」 「知的障害」
8月20日	事例検討会 「うつ病」	2月9日	令和3年度研修振り返り 令和4年度計画

【外部研修】 計32回

年月日	研修名	主 催	内 容
6月16日 7月14日 8月11日	愛知県相談支援 従事者現任研修	愛知県	合同講義・演習 「相談支援専門員の更新に伴う研修」
6月15日 7月13日 8月10日	愛知県相談支援 従事者現任研修	愛知県	オンライン合同講義・演習 「相談支援専門員の資格の更新」
8月20日	精神障害者への 支援を学ぶ	名古屋市精神 保健福祉セン ターこころば	「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム 構築推進事業において行われる精神障害者の 地域移行関係職員に対する研修」
9月8日	障害者差別「地域 の相談窓口」従事 者向け研修	名古屋市障害 者差別相談セ ンター	オンライン研修 「障害者差別解消に向けた建設的な対話」 事例報告・事例検討
9月16日	「権利擁護と青年 後見人制度」～事 例を通して意思決 定支援を考える～	名古屋市成 年後見あん しんセンタ ー	オンライン講義 「権利擁護と成年後見制度(基礎編)・中核機関として」 「成年後見制度と意思決定支援」 「意思決定支援を踏まえた後見事務のガイドラインから 学ぶ」
10月1日～ 10月18日	福祉・介護の職場 環境改善研修	愛知県社会 福祉士協議 会	オンライン講義 「コロナ禍・アフターコロナにおける働きやす い環境づくりと人材養成の要点」

10月18日	名古屋有志の会 事例検討	鶴舞こころ のクリニック	オンライン研修（事例検討会） 「子育てで苦しんでいる発達障害の20代女性のケース」
7月19日	名古屋有志の会 事例検討	鶴舞こころ のクリニック	オンライン事例検討 「父親への怒りを抱えつつ支援を拒否し続け80代の母親と同居するアルコール依存症の30代男性のケース」
10月1日～ 10月31日	子どものこころの 健康を考えるシン ポジウム	公益社団法人 日本精神神経 科診療所協会 児童青少年問 題関連委員会	オンライン講習 「愛着障害をめぐって～愛着障害って何だろう？～」
10月26日	ピアサポーター 養成研修	名古屋市精 神保健福祉 センター	「ピアサポーター養成研修」
12月2日	つながろうみんなにやさしい日本語で「やさしい日本語」研修	中区社会福 祉協議会	「外国の方をはじめ、高齢者・障害者、こどもにわかりやすい「やさしい日本語」とは何か」
12月2日	精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築支援のための研修会	精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築支援事業事務局	オンライン説明・講義 「第7次医療計画の現状と第8次計画に向けた検討会について」 「630調査とその活用について」 「NDBについて」
12月7日	精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築支援事業アドバイザーのスキルアップのための研修	精神障害者にも対応した地域包括ケアシステムの構築支援事業事務局	オンライン研修 行政説明「地域精神保健への期待」 講義「地域精神保健を基礎とした包括的支援の重要性」 グループワーク「相談支援における地方自治体の役割」
12月17日	EUCOMS 研修	鶴舞こころ のクリニック	オンライン研修 「地域におけるすべての人のためのリカバリーについて」

12月28日	なるほど！なっとく！高次脳機能障害	NPO 法人 笑い太鼓	インターネット配信 「高次脳機能障害当事者のこころ、家族のこころ」
1月14日	愛知県若年性認知症自立支援ネットワーク研修	愛知県福祉局	オンライン研修 「愛知県若年性認知症支援コーディネーター事業について」
1月18日	双極性障害の基礎知識	医療法人輝豊会	※中止（コロナウイルス感染症拡大予防の為）
1月19日	地域共生社会の実現に向けた包括的な相談支援体制構築のための研修会	市社協	オンライン研修 「地域共生社会の実現に向けた包括的な相談支援体制の構築」
1月25日	愛知県青年後見制度利用推進研修	愛知県	オンライン研修 「成年後見制度と意思決定支援の基礎理解」
2月3日	障害者虐待防止講演	名古屋市障害者虐待相談センター	オンライン研修 「障害者福祉施設・障害福祉サービス事業所職員における虐待防止に向けて」
2月4日	名古屋市若年性認知症講演会	名古屋市認知症相談支援センター	オンライン研修 「若年性認知症の人とともに創る地域共生社会」
2月14日	知ることから始めるピアサポート	西区自立支援連絡会	オンライン研修 「ピアサポートについて」
2月15日	経営者・施設長セミナー	市社協	オンライン研修 「社会福祉施設における利用者、家族等からのハラスメント防止」
2月16日	EUCOMS ネットワーク名古屋	鶴舞こころのクリニック	オンライン研修 「事例検討会」
2月28日	障害者差別「地域の相談窓口」従事者研修	名古屋市	オンライン研修 「障害者雇用について考える」 「雇用場面での障害者差別解消について」

3月4日	名古屋市相談支援従事者研修（共通全体研修）	名古屋市	オンライン研修 「サービス等利用計画と個別避難計画」
3月4日	名古屋市相談支援従事者研修（中堅研修）	名古屋市	オンライン研修 「地域づくりのポイントについて」
3月8日	双極性障害の基礎知識	医療法人輝豊会	オンライン研修 「気分障害（双極性障害）の基礎知識」

4 職員ミーティング

計12回

内 容		時 間
現場会議		第4水曜日 18:00～20:00
4月28日	8月25日	12月22日
5月27日	9月22日	1月26日
6月23日	10月27日	2月22日
7月28日	11月24日	3月23日

5 精神障害者地域活動支援事業「あかもん」との連携

定期的にあかもん会議（第1，3水曜日）やあかもん研修（奇数月第2水曜日）に基幹センターの職員が参加し、情報共有や各種ケースについて協議を行なった。また、ピアサポート活動事業について、あかもんや鶴舞こころのクリニックと連携しながら取り組んだことで、ピアサポーターの登録につなげることができた

6 事業提携（スーパーバイズ契約）

「自立支援連絡協議会に同行」「講師派遣へ同行」「各種ケースに対する助言」「ピアサポーターについての協力」など精神疾患のある方への対応や地域での活動に対する協力を依頼した。

7 地域の「総合水防訓練」「総合防災訓練」への参加

コロナウイルス感染症の影響により「総合水防訓練」「総合防災訓練」が中止となった。

【精神障害者地域活動支援事業 あかもん】

1 総論

令和3年度は名古屋市からの5年間の業務委託となった3年目の年度であった。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により緊急事態宣言（5月、8月）、まん延防止等重点措置（4月、6月、8月、1月）、愛知県厳重警戒措置（7月、10月）の期間において営業時間の短縮（10：30～18：00→10：30～17：00）の対応を行なった。また、各部屋の利用人数の制限やプログラムの制限、見学・体験者の制限などを行いながら1年間取り組んだ。結果としてあかもん登録者や見学・体験者に新型コロナウイルス感染症に感染した人は1人もでることはなかった。厳しい制限の状況下の中であったが、利用者の状況（登録、見学、体験、延べ、1日平均）については令和2年度と同様の水準で取り組むことができた。

また、精神障害者ピアサポーター活用事業については、あかもんの利用者から初めてピアサポーター登録を行ない、自立支援連絡協議会において講演活動も行なうことができた。

2 支援体制と職員配置（令和4年3月末現在）

6月に常勤職員1名採用したが、10月に常勤職員1名退職となった。スーパーバイズ契約を結んでいる鶴舞こころのクリニックの職員が4月から1名増員となり、月1回の派遣から毎週木曜日に1名派遣へと変更になった。

職 員	資 格
常勤専従2名 非常勤専従4名	精神保健福祉士 社会福祉士 看護師

※うち、鶴舞メンタルクリニックスタッフ2名（スーパーバイズ契約）

3 直接処遇業務

登録者については4月の30名スタートから5名（他区5名）増え、35名となった。新型コロナウイルス感染症の対策のため、部屋ごとの人数制限や1日当たりの体験者や見学者の人数制限を行ったことにより、利用者の数（見学・体験・登録）は昨年と同じような数値となった。

新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度同様、人数制限など感染症対策を行いながら行えるプログラムに限定し、活動を行なった。

年度末に利用者全員に対してアンケート調査を実施し、令和3年度の評価や令和4年

度以降新型コロナウイルス感染症対策を行いながら行える活動について再度利用者の意見と確認する対応を行なった。また、東ブロックと共同で新型コロナウイルス感染症の対応に関するアンケートも実施し、今後の対応について名古屋市と協議するために情報収集を行なった。

<見学・利用体験、登録者の人数>

	累計登録者数	見学者数	体験者数	開所日数	延べ人数	1日平均
4月	30	2	3	22	179	8.1
5月	32	4	2	19	117	6.2
6月	32	1	0	23	137	6.0
7月	34	0	0	21	124	5.9
8月	35	2	0	22	128	5.8
9月	35	1	0	21	116	5.5
10月	35	1	0	22	131	6.0
11月	35	4	1	21	144	6.9
12月	35	0	0	21	131	6.2
1月	35	1	1	20	124	6.2
2月	35	2	0	19	121	6.4
3月	35	1	1	23	133	5.8
合計	35	19	8	254	1585	6.2
r2年	35	15	17	255	1530	6.0
r1年	27	32	28	251	2183	8.6

<登録者地域>

中区	昭和区	千種区	南区	瑞穂区	港区	守山区	天白区	熱田区	中川区	東区	西区	名東区	中村区	北区	岡崎市
11	2	4	2	1	2	1	3	1	1	1	1	1	1	1	2

<登録者の主な疾病>

精神疾患	その他の障害
広汎性発達障害 双極性障害 統合失調症 自閉症スペクトラム うつ病 不安神経症 解離性障害	脳性麻痺 言語機能障害 弾性線維性黄色腫 視覚障害 下肢機能障害 知的障害

強迫性障害 不安障害 パーソナリティ障害 気分変調症 中毒性精神病 パラノイア	
--	--

< 創作的活動又は生産活動の機会の提供に関する業務 >

活動種別	活動内容
創作活動	飾り作り（七夕、ハロウィン、冬の季節、クリスマス、正月、春の季節、雛飾りなど）、絵手紙、折り紙
音楽活動	音楽鑑賞（CD、YouTube）
外出活動	散歩
教養活動	DVD 鑑賞、パソコン、〇×クイズ（食中毒、感染症勉強を含む）
ミーティング	あかもんトーク
災害対策	防災訓練（避難場所の確認、非常食配布等）、防災〇×クイズ

< 社会との交流の促進に関する業務 >

日 時	地域のイベント
4 月～3 月	※活動の自粛（コロナウイルス感染症拡大予防の為）

< 日常生活に必要な便宜を供与することに関する業務 >

業務内容
面談
担当者会議参加
家族との連携（情報共有）
医療機関との連携（情報共有）
障害福祉サービス事業所との連携（情報共有）

4 地域の事業所等との連携と普及啓発等事業

新型コロナウイルス感染症の影響により、医療関係への普及啓発活動については、昨年度同様、郵送での対応を中心に行なった。実習生の受け入れについては、1 日の受け入れ人数を1 名に制限しながら対応を行なった。

自立支援連絡協議会や地活交流会への参加については、オンライン形式での開催が多く、オンライン開催に対応できるようあかもんでオンライン研修会を実施するなどの対策を行ないながら各会議に参加した。

精神障害者ピアサポーター活用事業については、あかもんの利用者から初めてピアサ

ポーター登録を行なった。登録後、第1回目の活動としては自立支援連絡協議会の研修会（精神障害者の理解を深めるための研修会）に講師役として参加し、これまでの生活体験を中心に話をした。その際、ピアサポーター支援者として、鶴舞こころのクリニックのスタッフも同席することで、当事者と支援者の両方の視点での話をすることができた。

＜中区障害者自立支援連絡協議会＞ 計3回

日 時	活動内容
11月15日	相談支援部会（オンライン） グループワーク 「サービス管理責任者と相談支援専門員のネットワークを作る」
11月19日	全体会（オンライン） 協議会報告 研修会「中区防災の取り組みについて」
1月27日	ネットワーク部会（オンライン） 「難病の理解と配慮について当事者から学ぶ」

＜地域活動支援事業所交流会＞ 計1回

日 時	活動内容
10月27日	くつろぎ処（オンライン） グループワーク 「各地活の状況と課題について」

＜医療関係への普及啓発活動＞

※コロナウイルス感染症拡大予防の為、郵送による営業に変更

中 区	他 区
大須メンタルクリニック 上前津こころのクリニック 中メンタルクリニック ひだまりこころのクリニックサンシャイン栄院 名古屋医療センター かゆかわクリニック クリニック徳 はたの医院 ひだまりこころクリニック金山院 森川クリニック 青木クリニック	木村神経科 なごやメンタルクリニック 林内科クリニック たけうち心療内科 平安通クリニック 金山橋クリニック 石井クリニック からだと心 泉やわらかクリニック 愛知県精神医療センター 名古屋大学医学部附属病院 今池内科・心療内科 精治療病院

なごや在宅診療所 千種さわやかクリニック スカイル内科（心療内科・心理相談） 栄メンタルクリニック 岡 神経内科 広小路メンタルクリニック 心療内科・内科リエゾンメディカル 丸の内 南メンタルクリニック 鶴舞こころのクリニック 金山メンタルクリニック	藤田こころのケアセンター もりやま総合心療病院 あいせい紀年病院 八事病院 愛知医科大学病院 船山メンタルクリニック 大高クリニック 中村公園メンタルクリニック のなみ心療クリニック
---	---

< 社会福祉士見学者（見学及び体験）受け入れ >

学 校	受入人数
淑徳大学	4 名
東京福祉大学	2 名
日本福祉大学中央福祉専門学校	3 名
金城学院大学	1 名
東海医療科学専門学校	1 名
合計	11 名

5 開所日及び開所時間

緊急事態宣言やまん延防止措置発令時は名古屋市と相談しながら、開所日は変更せず、営業時間を 10：30～17：00 に短縮する対応を行なった。

通常 月曜日～金曜日、第2土曜日（10：30～18：00）

短縮 10：30～17：00

6 職員研修・人材育成

研修については、それぞれの課題の内容により「法人内研修（あかもん）（合同）」「外部研修」に分けて取り組んだ。内部研修については、部署に必要な共通の課題について確認できる場として、基幹センターやグリーンハウスなどとも連携しながら行なった。外部研修については、法人内ではカバーできないより専門性が高い内容について学ぶことができるようにした。

【法人内研修（あかもん）】計6回

日 時	活動内容	日 時	活動内容
5月2日	防災について	11月10日	ZOOMの使い方 (ラディックス外部講師)
7月16日	権利擁護について 「虐待・差別など」	1月12日	地活・基幹Cについて
9月8日	緊急時の対応確認 非常口確認	3月9日	令和3年度研修振り返り 令和4年度研修計画

【法人内研修（合同研修）】 計6回

日 時	活動内容	日 時	活動内容
4月14日	事例検討（あかもん）	10月13日	事例検討（グリーンハウス）
6月9日	事例検討（グリーンハウス）	12月8日	事例検討（グリーンハウス）
8月20日	事例検討（あかもん）	2月9日	振り返り、令和4年度計画

【外部研修】 計5回

日 時	研修名	主 催	内 容
7月19日	リハビリテーションセンター説明会	名古屋市総合リハビリテーション事業団	講義 「センター概要、取り組み紹介、利用方法について」
9月22日	薬学基礎知識研修	名古屋市社会福祉協議会	講演 「薬の知識、疾病・症状と薬について」
10月1日	感染症対策研修	名古屋市社会福祉協議会	講演、グループワーク 「感染症対策の基本」
11月10日	対人援助技術研修	名古屋市社会福祉協議会	講演、グループワーク 「対人援助技術とは」
2月4日	障害年金について	名東区障害者基幹相談支援センター	講演、グループワーク 「障害年金のいろは」

7 職員ミーティング

月2回、あかもんスタッフと基幹センターの代表スタッフが集まり、利用者の近況や支援状況、あり方についての確認の場として現場会議を実施した。また、登録希望者の申請書類が整った際には、登録に対する判定会議を実施した。

また、スタッフ間の情報共有や課題整理をするために、あかもんスタッフだけのミーティングも月2回実施した。

＜現場会議（判定会議）＞第1、3水曜日 9：00～10：30 計23回

開催日時			
4月7日	7月21日	10月22日	1月19日
4月21日	8月4日	11月5日	2月2日
5月19日	8月18日	11月24日	2月16日
6月2日	9月1日	12月1日	3月3日
6月18日	9月15日	12月15日	3月16日
7月7日	10月6日	1月5日	

＜職員ミーティング＞第1、3金曜日 9：30～10：00 計23回

開催日時			
4月2日	7月2日	10月1日	1月21日
4月16日	7月14日	10月11日	2月4日
5月7日	8月6日	10月19日	2月18日
5月21日	8月20日	12月3日	3月11日
6月4日	9月3日	12月17日	3月18日
6月25日	9月17日	1月7日	

8 虐待防止委員会（準備委員会）

令和4年4月から虐待防止委員会を設置することができるよう虐待防止委員会の準備委員会を9月より月1回実施した。メンバーとしては「本部事務」「基幹センター」「あかもん」「グリーンハウス」「なごみ」「一歩」の代表が集まり、虐待防止法や虐待の定義の確認、虐待案件の検証などを行なった。

日時			
9月14日	11月24日	12月22日	3月17日
10月27日	1月26日	2月24日	

(年度累計・相談支援を利用している障害者等の人数)

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	357	91	1	63	199	37	7	16
障害児	28	2	1	12	5	5	0	5
計	385	93	2	75	204	42	7	21

難病患者（その他の再掲）
6
0
6

支援内容・方法

	福祉サービスの利用等に関する支援	障害や症状の理解に関する支援	健康・医療に関する支援	不安の解消・情緒安定に関する支援	保育・教育に関する支援	家族関係に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加・余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	その他	計	差別に関する相談（権利擁護の再掲）	虐待相談（権利擁護の再掲）
訪問	239	4	3	7	5	7	7	11	0	0	0	1	295	0	1
同行	10	0	3	0	0	0	0	5	0	0	0	2	28	0	1
訪問個別支援会議	16	0	0	0	1	2	1	1	0	0	0	1	22	0	0
関係機関調整	9	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	12	0	0
その他	11	1	0	2	0	3	1	1	0	0	0	2	7	0	0
小計	285	5	7	9	6	12	13	18	0	0	0	6	385	0	2
来所	197	13	12	6	4	3	16	9	15	58	7	49	389	0	1
来所電話	1073	98	326	648	22	84	55	59	144	76	34	360	2979	0	6
電子メール	255	8	32	10	1	8	7	4	0	52	9	51	437	0	4
小計	1525	119	370	664	27	95	78	72	159	186	50	460	3805	0	11
計	1810	124	377	673	33	107	91	90	159	186	56	484	4190	0	13
ピアカウンセリング（再掲）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

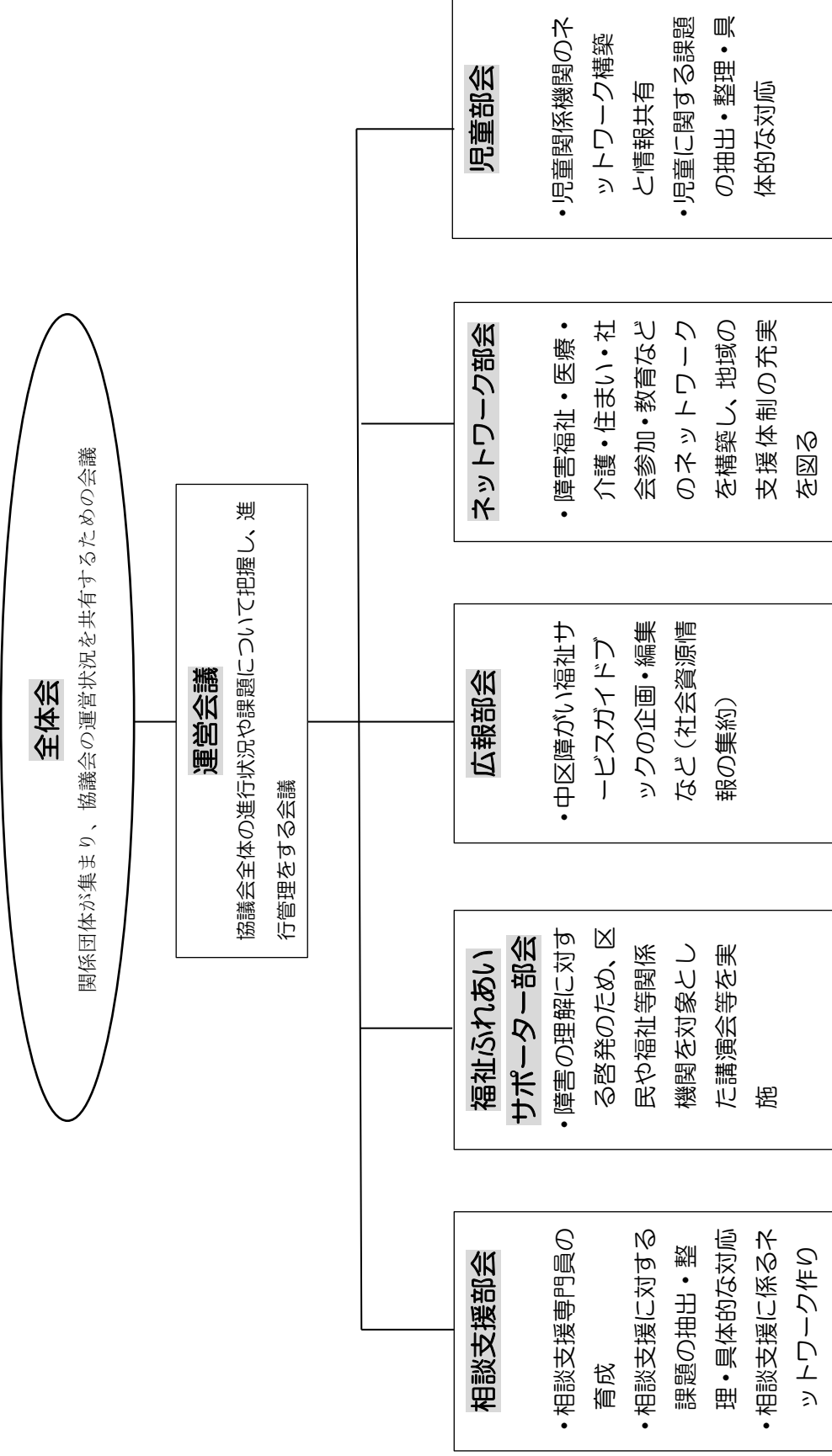
	総会（全体会）	部会	研修会	その他	計
地域自立支援協議会	2	37	3	7	49

事業運営費外

障害支援区分認定調査	サービス等利用計画(案)	サービス等利用計画	継続サービス利用支援	入居成立
250 件	20 件	14 件	62 件	1 件

中区障害者自立支援連絡協議会組織図

障害のある方が地域で安心して生活するために「人と人をつなぎ、地域課題を地域で共有し、解決に向けて地域で協働する場」です。障害福祉に関係する者に限らず、保健、医療、教育、就労、当事者、地域住民などありとあらゆる方が、地域づくりのために協議し取り組みます。



【名古屋市重症心身障害児者施設ティンクルなごや

＜医療型障害児入所施設・療養介護・短期入所（医療型）＞】

1 総 論

「すべての人の生命、最も弱いものの生命がひとりももれなく守られ、成長が育まれ、豊かな人生が過ごせる社会の実現に寄与する」という施設の基本理念のもと、平成27年度の開設以来、「生活支援」、「在宅支援」、「地域連携」などの基本方針を定め、「安心、安全、思いやり、温もりのある療養環境」の提供に努めてきた。

しかしながら、令和3年度は、前年9月に発生した虐待事案について、未然に防止できなかったこと、及び発生後の対応に遅延を来したことを真摯に反省し、再発防止と信頼回復に向け、ゼロからのスタートを切った一年であった。

また、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら、利用者の安心・安全を最優先とした施設運営に努める一方、長引くコロナ禍における療育活動のあり方をはじめ、保護者の方々への情報発信や交流のあり方について試行錯誤の一年でもあった。

こうした中、長期入所（設定定員80名）については、年間平均稼働率 91.1%（年間平均入所者数72.9人、※令和2年度73.0人）で、令和元年度に達成した「公的医療機関等2025プラン」の目標稼働率90%を維持している。

2 稼働実績 （カッコ内は令和2年度）

施設全体（定員90名）の年間稼働状況については、一日平均利用者数76.2名（75.0名）で、稼働率は84.7%（83.3%）であった。

【一日平均利用者数推移】

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
長期入所	66.3	73.0	72.9
短期入所	6.3	2.0	3.3
全 体	72.6	75.0	76.2

※ 長期入所者には、有期限利用者1名（2名）を含む

なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、短期入所については個室対応とし、6名（各病棟2名）の受け入れ枠で運用を行った。

ただし、個室化工事の実施に伴い、令和3年9月は2名（2階病棟は休止、3階東・西各1名）に、また、10月から令和4年1月までは3名（各病棟1名）に受け入れ枠を暫定的に縮小して運用を行った。

3 職員配置

持続的・安定的かつ効率的な施設運営を図るべく必要な人員確保と適切な人材配置に努めた。

【職員数一覧表】 (各年度末現在)

(単位:人)

区 分	医師			看護師		生活支援員		理学療法士		薬剤・栄養・事務等		計	
	常勤	非常勤	常勤換算	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤	常勤	非常勤
令和元年度	2	9	6.4	58	5	33	1	3	2	16	10	109	27
令和2年度	2	8	6.2	63	5	35	2	3	1	15	11	118	27
令和3年度	2	10	6.2	63	2	28	2	4	1	15	13	112	28

* 医師常勤換算は宿日直は含まない

* 令和3年度年度末現在産休・育児休業5名を含む(看護師1、生活支援員2、薬剤師1、管理栄養士1)

4 サービス

(1) 生活支援

ア 長期入所利用（医療型障害児入所施設、療養介護）

【入所者の推移・内訳】

(単位：人)

区 分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
実入所者数（3月31日現在）	73	74	74
18歳未満	11	9	9
18歳以上	62	65	65
超重症児者数	11	12	11
準超重症児者数	17	15	17
呼吸管理	21	20	19
人工呼吸器あり	11	11	11
気管切開あり (人工呼吸器なし)	10	9	8
経管栄養(胃ろう、経鼻等)	45	45	45
学校教育	9	9	8
訪問教育	6	6	5
通 学	3	3	3

令和4年3月末時点の超・準超重症児者数は28名（長期入所者の37.8%）

→ 7:1 看護体制の届出基準=30%

【他院受診件数の実績】

(単位：件)

年 度	耳鼻科	眼科	内科	皮膚	小児	整形	外科	泌尿器	その他	合計
元	43	9	38	30	20	12	33	36	28	249
2	42	2	27	11	18	18	26	19	23	186
3	53	2	22	25	16	31	35	18	21	223

イ 入所調整会議

本人の心身の状況や家族の介護状況などから、入所の必要性・緊急性を確認し、入所調整会議での審議を経て、入所者の決定を行っており、令和3年度は3件について計3回開催された。(集合開催1回、持回り開催2回)

入所調整会議は、名古屋市が設置し医師及び行政関係者によって構成している。

【令和3年度会議開催状況】

(単位：人)

審査日	審査件数	選考者数 (承認)	令和4年3月末現在			
			入所中	退所	辞退	調整中
8月5～13日(※)	1	1		1		
12月1日	1	1	1			
3月29～30日(※)	1	1				1
計	3	3	1	1		1

※ 緊急枠での受け入れのため持ち回りにより開催

ウ 措置入所

児童相談所との調整による措置入所児童について、前年度から引き続き5名受け入れるとともに、一時保護委託により児童3名を受け入れた。(令和2年度の実績1名)

エ 重度化等への対応

- 日々の看護や生活支援、リハビリテーションを通じ、状態変化の早期発見に努め、二次障害や合併症、感染症等の予防に努めた。

【リハビリテーションの実施件数】

(延べ)

区 分	年間計
実施件数	8,973 件
単位(1単位/20分)	12,662 単位

- 「院内感染対策指針及びマニュアル」に基づいた感染対策を徹底するとともに、感染対策委員会を月1回定期的に開催し、感染対策の実施状況について進行管理を行った。
- 褥瘡対策委員会を月1回定期的に開催し、褥瘡の予防対策について進行管理を行った。

オ 保護者との協力

- ・ 保護者会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から開催が中止されたが、役員を通じて必要な連絡調整等を随時行った。

- ・ 家族の面会

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、居室での面会を引き続き中止とする一方、感染対策を徹底したうえで、予約制による窓越し面会、オンライン面会を実施するとともに、11月からは屋内でのビニール越し面会を開始した。

【面会実施状況】

(単位：件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
合計	97	84	84	84	90	92	86	91	97	93	85	92	1,077
一日平均	3.9	3.7	3.2	3.5	3.5	3.8	3.3	3.8	3.6	3.7	3.9	3.5	3.6

※「一日平均」は、面会設定日数で除した数（土曜・祝日を除く）

カ 行事等

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「ティンクルまつり」(行事型交流イベント)を中止する一方、これに代わる日常密着型リモート発信企画(「千日紅(幸)プロジェクト¹⁾」)を実施した。
- ・ 屋内での全体行事として「ハロウィンイベント」を企画し、病棟・ユニット単位での分散開催ではあるが、共通のコンセプトのもとで開催した。(10月22日)
- ・ ボランティアによる訪問型イベント等についても、引き続き原則中止とする中、市中感染状況が落ち着いた時期にあっては、北文化小劇場の協力により、窓越し、ビニール越しで「ホスピタルクラウン」の来訪を受けた。(11月25日)
- ・ その他、感染対策に配慮しながら病棟ごとに毎月の誕生会をはじめ、季節行事(節分、ひな祭り、お花見、七夕、運動会、クリスマス等)、音楽療法などの日中活動を実施した。その際の状況などを、家族にご覧いただけるよう、施設ホームページ上のブログを通じて、メッセージや画像で近況報告を行ってきたが、今年度は新たに動画での配信も開始した。
- ・ また、1階交流ホールなどに季節のアレンジメントを施し、保護者の方と利用者の皆さんの面会空間のアメニティの充実に工夫を凝らした。

キ 特別支援学校との連携

- ・ 名古屋特別支援学校と連携し、通学と訪問により学齢期の入所者の義務教育が確実に保障できるよう努めた。
- ・ 2名が通学し、5名が訪問教育を受けた。

※なお、別に1名は本人(保護者)意向により港特別支援学校に通学した。

¹ 利用者一人ひとりが春から夏に千日紅の花を育て、ハーバリウムに加工、保護者からのメッセージとともに画像にし、スライドショーで配信する企画

- ・名古屋特別支援学校とは学校事業や児童生徒に関する定期的な情報交換を行った。

ク 介護リフト

ベッド、車いすへの移乗や入浴介護にあたっては、原則、介護リフトを使用することを徹底し、利用者の安全確保に努めるとともに、職員の腰痛防止等の健康管理に努めた。

ケ その他

- ・利用者一人ひとりに対する理解を深め、個別支援計画内容の充実を図りながら、計画に則ったケア、生活支援を行った。
- ・毎月1回、給食委員会を開催し、栄養状態や食事内容の改善を図った。
- ・原則週3回の入浴や適時の排泄交換、汚れた衣服の随時交換等、清潔で快適な生活の維持に努めた。

(2) 在宅支援

ア 短期入所

- ・利用者や保護者の安心につながる支援が受けられるよう、医療的ケアの状況や直近の健康状態、家庭での生活の様子などについてきめ細かく聴き取りを行うとともに、利用日や時間帯について可能な限り希望に沿うよう丁寧な利用調整に努めた。
- ・また、改善要望の高かった予約方法について、令和4年3月受付分からインターネットによる利用予約を開始し、従来の電話予約に伴う保護者の時間的ストレスの軽減を図った。

【利用状況】

(単位:人)

区 分	年間計	月当り	一日平均
延利用者数(日)	1,189	99.1	3.3
未利用者数(人)	378	31.5	2年度: 2.0 元年度: 6.3
超重症児(日)	89	7.4	
準超重症児(日)	289	24.1	
利用件数(件)	391	32.5	
年度末契約者数(人)	123	—	

イ 相談支援

- ・施設入所(長期入所)や短期入所利用に関する保護者や関係機関からの相談に随時対応するとともに、児童相談所からの一時保護委託等の相談に対応した。

区 分	相談件数(実件数)
-----	-----------

施設入所相談	9
短期入所利用相談	21
措置入所相談	0
一時保護委託相談	3

(3) 地域連携

ア 西部医療センターとの連携状況

- ・緊急時、急変時に救急医療の対応を依頼した。
- ・木曜日の時間外に皮膚科医師の定期派遣が開始された。（令和4年1月から）
- ・土曜日の日直について、西部医療センター医師の派遣を受けた。

イ 北歯科保健医療センターとの連携状況

- ・利用者の歯科治療（実人数55人、延受診日数325 日）

ウ 関係機関との連携

- ・愛知県重症心身障害児者療育ネットワーク会議、同部会等の会議に参加し、重症心身障害児者施設の運営に関する共通課題や制度改正への対応などについて連携を深めている。（オンライン参加を含む）
- ・市内の医療機関、障害者基幹相談支援センター、児童相談所、重症心身障害児者関係施設などと、障害児者の受け入れに係る個別調整や代替サービスの情報交換などを行い、関係機関相互の連携強化、顔の見える関係構築に取り組んだ。

エ 支援者向け講演会の実施

- ・日本ケアラー連盟代表理事で重症心身障害のある子の親でもある児玉真美氏を講師に「私たちは普通に老いることができない」と題し、高齢化していくご家族の思い等について、ZOOMによる講演会を実施した。（1月14日）
- ・その後、他の重症心身障害児者施設や障害福祉サービス事業者など関係機関に周知し、当日の講演録画をYouTube上で希望者に公開した。（27か所、102名から視聴申込）

オ 在宅相談支援機能の構築に向けた検討

- ・在宅の重症心身障害児者とその保護者・家族が抱える医療や福祉、生活上の課題の実相に接近し、当施設が担うべき役割と課題解決のためのネットワーク構築の方向性を明らかにするための調査に着手した。
- ・令和3年度は、障害者基幹相談支援センター16か所のうち、方面別ブロックの幹事センター4か所とティンクルなごや所在区のセンター1か所の計5つの基幹相談支援センターに聴き取りを行った。

(4) 広報・PRの実施

- ・ ホームページにおいて動画配信による近況報告を開始したほか、ブログの掲載等により施設及び利用者情報の発信に努めた。
- ・ 機関紙「ティンクルなごや通信」を作成し、利用者家族、近隣学区、関係施設等に配布した。紙面を通じ、日中活動の紹介やスタッフのメッセージなど施設の近況を報告している。（発行年2回、各1,100部）

(5) 利用者の苦情・要望等の把握・対応

ア 「苦情申立相談処理実施要領」に基づき、利用者の苦情・要望等の申し出について対応を行っている。

イ 苦情対応・解決のための環境整備

- ・ 苦情受付窓口 相談員
- ・ 苦情解決責任者 総務部長
- ・ 第三者委員 西部医療センター長 名古屋特別支援学校校長
- ・ 苦情件数 0件
- ・ 感染防止対策の影響で来所者数が大幅に減少するなか、電話や面会時の来所機会等を捉え意見・要望の把握に努めた。

(6) 利用者満足度調査

ア 期 間

令和3年9月15日～11月8日

イ 対 象

施設入所者、短期入所利用者（いずれも利用者の保護者が回答）

ウ 内 容

職員の対応、設備・環境、生活支援、ご家族への対応について、満足度を調査

エ 方 法

施設入所者、短期入所利用者とも郵送により実施

オ 結 果

【回答率】

施設入所利用者：回答率 58.1%（43／74 家庭）

【令和2年度 63.0%（46／73 家庭）

短期入所利用者：回答率 36.8%（42／114 家庭）

【令和2年度 39.5%（49／124 家庭）

【概 要】

- ・ 長期入所など施設入所利用者を対象に、「職員の説明の分かりやすさ」、「尋ねやすい雰囲気」等3～6項目についての評価(5段階)を職種別に尋ねた。
- ・ 評価付けがあった回答のうち、「良い」と「まあまあ良い」を合わせた肯定的な回答は、全体平均では約8割(78.1%)に上ったが、前年度と比べると3.4ポイントの減少となった。

- ・「質問や意見が言いやすい雰囲気か」の設問では、職種を問わず前年度から減少し、2～20ポイントの減少幅となった。
- ・一方、「わからない」の回答率が回答者全体の5.8%（2年度/3.4%）あるほか、無回答の割合も12.4%（2年度/6.2%）みられるなど、長期化するコロナ禍で、職員との接触機会が制限されていることの影響で、評価そのものが難しくなっている点も窺われる。
- ・また、新型コロナウイルス感染拡大防止に関しては、対策のあり方に対し肯定的な評価が87.5%であった一方、面会の方法や頻度、時間についての肯定的評価は6～7割という状況であった。
- ・短期入所利用者については、自由記述の中で従来の電話での予約方法に対する改善要望が多く寄せられたほか、感染対策へのご理解を頂く一方で、個室対応下での滞在中の過ごし方への不安の声も寄せられた。

カ 保護者へのフィードバック

12月に集計結果、自由記述への文書回答を郵送 ※詳細別添

(7) 新型コロナウイルス感染症等への対策

ア 施設内での感染予防策

- ・職員、ご家族、業者等入館者の検温、手指消毒、マスク着用を徹底した。
- ・施設内における、職員・入所者等のゾーニングを実施した。
- ・他院受診等で施設外へ出られた方については、個室により2週間の健康観察を実施した。また、体調の悪化が見られる方については、速やかに個室に移動していただく対応を行った。
- ・短期入所利用者に対しては、2月1日以降、利用当日に抗原検査を実施し陰性を確認して入所していただくこととしたほか、感染が急拡大する局面にあっては一時的に短期入所の利用自粛を要請し協力を求めた。
- ・ワクチン接種の対象となる利用者、施設職員、及び施設内に常駐する委託事業者職員を対象に3回の接種を行ってきた。

イ その他の対策

- ・感染対策の観点から、医師、看護師、生活支援員、コメディカルスタッフに制服を導入し、貸与及び洗濯を業務委託する契約を新たに締結した。
(R3.9.1～R4.3.31、委託金額2,688,246円税込み)
- ・個室対応できる居室を増やすため、各病棟デイルーム奥にある2床室(計6室)を個室化(2室化)する改修工事を実施した。(工期R3.9～12月)

※ 施設関係者の感染状況：利用者／なし、職員／2名（9月、1月）

(8) 災害への対策・対応

ア 「消防（防災）計画」「防災マニュアル」等に基づき、訓練を行った。

- ・総合訓練 2回実施（9月、3月）

- ・避難訓練 8回実施

通常の避難に加え、消防署への通報訓練、消火器取扱訓練等を行った。

- イ 防災委員会で備蓄の状況や災害時の対応について確認・検討を行った。
大災害時の備蓄用の水(3日分)、食料、衛生材料等の消費期限を確認した。

(9) 事故等の予防・対応

- ア 「医療安全管理指針」等に基づく対策等について、新規採用者に研修を行った。

- イ 医療安全管理委員会等が主催し定期的に職員研修等を行うとともに、事故等発生時には、事故報告を踏まえ再発防止に向けた取り組みを徹底している。

名古屋市への事故報告は以下のとおり

- ・利用者の骨折（4月6日、16日発生）
- ・体位変換介助時の不適切な対応（6月27日発生）
- ・利用者の骨折（1月25日発生）

- ウ 令和2年9月に発生した虐待事案について保護者説明会を開催し、謝罪及び事実関係説明とともに、再発防止に向けた取り組みの方向性について説明を行い、参加者からの意見を伺った。（5月29日開催。参加44名）

未然防止策の不備や事後対応の遅延等に厳しい指摘を受けるなか、施設として虐待防止委員会を定期的に開催し、各部署における再発防止に向けた取り組みの推進と進行管理を行うとともに、関係機関や保護者からの指摘を受け止め、「虐待防止ガイドライン及び発生時対応マニュアル」策定の検討を重ね、成案として取りまとめた。

2021年度 利用者満足度調査(長期) 記述回答内容集計

1. 看護師・生活支援員

	内容	施設からの回答
支援	上に掛けるもの、冬用なので、持参しているの、夏物にと思えます。室温、部屋の温度にもよるので分かりませんが、見てもらい、嬉しそうな姿見るとよく見えてもらっているのだと思います。感謝。 会っていないので分かりませんが、ベッドの所にはタオル・枕をおいて手が柵に当たらないようにお願い致します。 耳かきや爪切りはどう対処していますか？	掛け物につきましては、利用者さんの体温や居室の室温に合わせて調整しています。ベッド柵に手や足が当たる可能性がある利用者さんはベッド柵にカバーをつけていますが、ご心配な場合は職員へお伝え下さい。耳かきにつきましては、綿棒を耳の中に入れることはなく、入浴時に耳のまわりを拭き取ります。爪切りは整容の一つとして定期的に爪の長さを確認し、爪やすりまたは爪切りを実施しております。
整容	床屋・顔の髭剃り もう少しきれいにして欲しい。 そろそろ理容師さんが入ることを考えていただけではないでしょうか。髪がボサボサだと胸が痛いです。このような子供達はこざっぱりして欲しいことを切に望みます。	髭剃りは基本的に毎日行っております。訪問理髪は10月下旬に再開いたしました。が、今後の実施時期についてはあらためてご案内いたします。
対応	課長さんとはとてもこちらの話も聞いて頂き、有り難いと思えます。他の方で、電話の応対等、すぐく感じの悪い方もいます。そのような方達に子供を預けていて心配です。うちの子供は喋る事もできず、意思疎通もできず、慣れるまでにその人の声を覚えてやるしかできないので、すぐく心配しています。	ご不快な思いをさせてしまったこと、またご心配をおかけしましたことにつきましては大変申し訳なく思っております。いただいたご意見を真摯に受け止め、応対改善に取り組んでまいります。
情報伝達	面会の時、部屋等の事、子供の気づいた事を教えて欲しいです(親はみんな知りたいのです)。何が足りていないのか私たちは部屋に行けていないので、その事を念頭において下さい。遠慮なく言ってください。 (ご家族への依頼が負担になることがありますか) 今、こういう時だからこそ親に伝えて欲しいです。 いつもながら物言わぬ子を相手によくしていただいていると思ってます。面会の折、今の状態を少し話して頂ければと思います。 時々電話で様子を知らせていただき、嬉しく思っています。早くコロナが収まり、面会の日に握手ができるようになるといいな一と思っています。 以前のように上に上がっていませんので、私たちは服や下着などのようになっているのか知りたいのですので教えて、足りない時等、面会の機会がある時知らせて欲しいです。 面会できないので、日々の生活が充実しているのかとても気になります。何も言わない・言えない子どもなので…。大変かと思いますが、職員さんのこういう生活を送っているという説明と、こういう生活を送らせたいと考えていることを発信してくれると安心しますが…。	できるだけ利用者様の普段のご様子をお伝えできるように心がけておりますが、お気づきのことやお聞きになりたいことがございましたら遠慮なく職員へお伝え下さい。
情報共有	報・連・相が上手くいっていない事が多い。	必要な情報伝達にもれがないよう、職員間の情報共有に努めてまいります。

職員との関わり	窓越し面会時くらいしか接しないのでよくわかりません。そのときも子供中心にしか見ていないので職員各人については、良い・悪い○をつけるほど分らないです。
	お話をさせていただく機会がほとんどありませんでしたのでありません。
	面会の機会もなく不明。
	面会に良く行けないのが残念ですが、良くやって頂いていると思います。これからもう少しお願い致します。

面会の時間を制限させていただいており、対面でお話する機会も少なくなっておりますが、利用者様のご様子など、機会を捉えてできる限りお伝えできるよう努めてまいります。またご不明な点等ございましたら、遠慮なくスタッフにお尋ねください。

2. 医師

	内容	施設からの回答
対応	(既に解決済みですが)治療にあたっては事前に目的や内容・注意点を説明して頂き、家族の意見も聞いた上で実施して下さると助かります。	ご心配をおかけしました。治療について説明し、保護者様に同意いただいたことから、進めて参ります。
	入所した時には体重58kgありましたが、昨年12月に誤嚥性肺炎になり救急で他の病院へ入院しました。その時の体重が、39kgしかなく、向こうの先生もびっくりされました。家では普通食を食べていましたが、ディンケルではトロミ食になり、おやつは差し入れも無しということで、体重がやっぱり減って、体力的に無理があるのではと思います。介護をする人達が偉いので入所している人殆どの方が褒めていますよね。偉いのはわかりますが、他の病院の先生も52～53kgはあってもいいと言われ、びっくりしていました。手首でも骨と皮だけですよね。もう少し考えて下さい。体力があれば無くては無くても仕方ないですね。それこそ虐待です。名古屋市健康福祉局障害係の方へ通達したいと思っています。	大変ご心配をおかけし、申し訳ありませんでした。重症心身障害者の目安となる体重は、障害のない人の標準体重とは異なります。成人の標準BMIは22ですが、重症児者では、障害を持ちながら体調を維持していくために、15.8程度が標準と成書に示されております。2021年11月の身長、体重から計算されるBMIは17.2です。重症児者としては、体重は少なくありません。転院先の医師は、障害のない人の標準体重から考えて、やせすぎと仰ったと思われます。施設では、管理栄養士と医師、看護師等が相談しながら、バランスのとれた適切な量の食事を、それぞれの嚥下機能に合わせた形態で提供しております。誤嚥性肺炎で入院治療を受けられた経過もありますので、再発予防のために、粒のないお粥と細かく刻んでまとめたおかずを食べていただいておりますが、栄養価は手を加える前の食事と同等です。栄養状態が良好に維持されていることは採血でも確認しております。
	額に発疹がでやすいので、(頭も)気をつけて欲しい。いつも面会に行くときれいにしていると思うのに、よくできる(発疹)せいもあります。書かせてもらいました。	ご心配をおかけしました。皮膚や眼の症状にも注意して、早期に治療を始めます。
	今の現状では、この問いには分かりません(すみません)。目やまぶた等の赤くなっているかよく見て目薬を出して欲しいです。言葉を言えない子供たちです。些細な事と思わないで気づいてやってください。	
職員との関わり	面会の機会もなく不明。	なかなか難しい状況ですが、お目にかかって、直接お話を伺える機会も持てるとよいと思っています。

3. 薬剤師

	内容	施設からの回答
服薬	薬が増えた時には直ぐに教えてほしい。	使用薬剤の変更は担当医師が決定いたします。薬の増減時には担当医師から説明をさせていただいておりますが、薬剤師からの説明をご希望される場合は、病棟担当者を通じて薬剤師へお尋ねください。
職員との関わり	お話をさせていただく機会がほとんどありませんでしたのでありません。	服用薬剤について、ご不明なことがありましたら、遠慮なく、病棟担当者を通じて薬剤師へお尋ねください。
	医師を介して薬のことは聞きますが、直接はお会いする事もありますのでよく分かります。	
	全く話も聞いた事がないので分かりません。	
	薬剤師さんにお会いする事が今できませんので答えられません。	
	ほとんど接していないのでわからない	
	薬についてあまりわかりません、これからよろしく願います。	

4. 管理栄養士

	内容	施設からの回答
対応	医師の所へも書いてあります、読んで下さい。酷い痩せ方にうちの子はなってます。他の病院へ救急車で運ばれ、入院した時に、向こうの先生方が39kgの体重にびっくりでした。皆んな職員が体重があると腰など痛めるので痩せさせているんですよ。親として、姿を見る度にとても辛くて泣けてきます。	入所されているすべての方を医師・管理栄養士・看護師がチームになり栄養状態のサポートを行っております。体重はご本人の体調、血液状態、皮膚症状等をみて調整しております。個別にご相談いただければご家族のご意向も加味したサポート方法を考えさせていただきますので、お問い合わせください。
ご要望	目にする事はなくなりましたが、豊富なメニューだと思います。自由に往来出来るようになれば、試食してみたいです。	感染症が落ち着きましたら、試食会等の機会を設けられるよう、調整したいと思います。
献立	献立内容が分からない為、意見しづらい。	1階事務室前と各病棟には掲示させていただいておりますが、現在、入館制限のため目に届きにくい状態になってしまい申し訳ありません。
職員との関わり	ほとんど接していないのでわからない。	栄養に関して、ご不明なことがありましたら遠慮なくお問い合わせください。
	お話をさせていただく機会がほとんどありませんでしたのでありません。	

5. リハビリテーション職員

	内容	施設からの回答
ご要望	また、見学させていただきたいです。 お話をさせていただく機会がほとんどありませんでしたのでありません。 なかなかお会いする機会が少ないので、よく分からないのが現状です。 内容を聞いていないので分かりません。	
職員との関わり	コロナの為に、なかなか職員さんに会えませんが、個別支援の計画書でしっかりリハビリをしていただいていると思っています。 ほとんどで接していないのでわからない。	リハビリの内容について、ご不明の点がございましたら、面会の時などにご説明できればと思っています。

6. 事務職員・相談員

	内容	施設からの回答
職員との関わり	今は行けないのでお会いする事がなく、分かりませんが、よくやっていたいてい る事と思います。宜しく願い致します。 お話をさせていただく機会がほとんどありませんでしたのでありません。	事務手続きや相談員への相談などがありまして、ご遠慮なくお問い合わせください。

7. 新型コロナウイルス感染拡大への対応

	内容	施設からの回答
面会（方法）	窓越し面会は、予約制でなくいつでも出来るようにして欲しい。建物外の階段をも う少し整備したり運用ルールを決めれば可能ではないでしょうか。外から部屋の 中を見れる様に出来れば、スタッフが隣に付く必要もないと思います。 感染対策をした上で、直接面会10分（仮に面会後に陽性となっても、入所者が濃 厚接触者にならない範囲）実施するなど検討いただければと思います。	ご家族が来所される時間が重なることを避けるとともに、面会場所までの誘 導と付き添いを円滑に行えるよう、事前予約制とさせていただいております。 感染動向を見極めながら、直接面会でできる機会も含め慎重に検討させていただ いております。緩和の判断が難しく、制限が長期化しており申し訳ありません が、今後も可能な限り安全かつ平等にご面会いただける方法を検討し、ご 案内させていただきます。
	ワクチン接種もすすんできた為、以前のような対面での面会が多くなると良い。	
	はがゆい	
	新型コロナワクチンを2回接種した人で当日発熱等ない親などの家族に限定し て、施設内面談を20分くらいでも検討して欲しい。	
	コロナウイルスが早くなくなると良いと思いますが、子供、肌に触れたり色々な事 が出来るようになるとよいと思います。	
	なかなか手にさわれない、握手ができない事がとてもさみしいです。電話で時々 様子を聞きますので安心はしています。	ご家族で親密な一時を過ごしていただけるような面会の環境が長期間にわた り確保できず、大変心苦しく思っております。現状では、感染対策の徹底のた め、ご面会時に利用者様に触れることは控えていただくようお願いをせざる を得ない状況ですが、今後の動向により、ご面会時の対応を変更させていただ くことも必要と考えており、対応を見直す場合にはご案内させていただきます のでよろしくお願いたします。
	窓越し面会の時は、本人にマスクをさせて頂きたい。窓越し面会時は、マスクをつ けて10分間外気浴をお願いしたい。親・本人共にワクチン接種済みのみ。親は離 れて様子を見る。	日中活動の一環として、利用者様にはお天気のよい日は外気浴を実施して おり喜んでいただいております。ご面会時の対応につきましては、今後も感染 対策と両立可能な方法について工夫をしながら改善を検討してまいります。

面会（方法）	職員さんとの面会時間を設けて欲しい。リモート面会も含む。	限られた面会時間設定で恐縮ですが、ご要望の趣旨も踏まえできるだけ利用者様の普段のご様子をお伝えできるように心がけてまいります。お気づきのことやお尋ねになりたいことがございましたら遠慮なく職員へお伝え下さい。
	子供の様子を付き添いの方にお聞きしたい。その時しか聞く時がありませんのでもう少し伸ばしたら（5分程）いいかなと思います。	収束後も必要な方にご利用いただけるよう、実施方法を検討してまいります。
面会（回数）	コロナ収束後も、Skypeでの面会方法は残して欲しい。	ビニール越し、オンラインいずれの場合も利用者様の近くに付き添う職員が必要となるため、日中の時間帯での対応とさせていただきます。その中でできるだけ多くのご家族様に面会していただけるよう予約回数を決めさせていただきます。
	感染拡大の中、看護師・生活支援員・相談員他、皆様におかれましては普段の生活から制限をし、気をつけて頂き、大変感謝致します。今後もし考えて頂けるのであれば、子どもと接触できないので、時間10分は良いのだが回数を増やす事を望む。 また、生活の様子は週に1度聞いているが、別にイベント等の時の写真（様子が分かるよう）が月1回でもあれば嬉しい。	ホームページでは利用者様の生活の様子やイベントの様子をブログや動画で配信するよう努めており、徐々にはございますが配信機会も増やしてまいります。写真は定期的にお届けすることが難しい場合がありますが、頻度も含め検討してまいります。
面会（時間）	15分くらいが良い	利用者様の面会場所への誘導、定刻に開始できない場合等の予備分も含め、30分の枠内で、ご面会いただける時間を10分程度とさせていただきます。
	長くても職員に負担と思えるから、これ以上は望めない。	
面会（予約枠）	月2回の時間枠が少なすぎて希望出来ない。利用者の生活の様子は電話はもらえるが、元気が否かわかる程度で、生活の様子まではわからない。	十分な回数、時間を確保できず申し訳なく思っております。現在は、感染対策及び利用者様全体の生活リズムを考慮しつつ、できるだけ多くのご家族様に面会の機会を持っていたくため、現在の方法を取らせていただいております。利用者様の生活の様子についてご不明な点やご心配な点は遠慮なくお尋ねください。
感染対策	子供たちの手等をよくふいてやって欲しいです。	食事ごとの清拭に加えて、何かに触れる機会があるときは手指消毒を実施しておりますが、今後とも衛生管理には十分注意してまいります。
その他	施設での新型コロナウイルス感染拡大への対策について、今、部屋とか食事している部屋でどのように対応しているか今は親にはわかりません。	食事はデイルームで摂取していただいております。利用者様の間の距離を取り、職員はマスクや手指消毒といった標準的な予防策を実施して食事介助を行っております。

8. その他

	内容	施設からの回答
	もう少し現状に則して変更していった欲しい。状況が変わっていても前年度と同様の計画で変化していない。 いろんな事が忘れることが多くなりました。1年のいろいろを書いて頂き、それを読んで振り返っています。大変ですが、私はとても嬉しいです。大切にしたいです。	ご要望の趣旨をふまえ、利用者様の現状に沿った計画を立案し、実施できるように努めてまいります。
個別支援計画	個人別支援計画説明日には各担当者全員に出席してほしいです。今年度の場合、リハビリと担当職員が不在で(副担当者が出席)わからない事があり、再度説明を聞くことになりました。	ご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。基本的には説明日に担当者が出席できるように調整しておりますが、勤務変更等で別の職員が担当することもございます。ご家族様への説明に当たっては、サード管理責任者を中心にチームで話し合いを行っており、別の職員の場合でも、的確に対応できるように努めてまいりますので、ご理解いただきますようお願いいたします。
	今年はまだ面接を受けていないと思います。(コロナ禍制限?)12月かも?	原則、お誕生日の月に説明させていただいておりますので、よろしく願っています。
ホームページ	コロナの中、生活の様子が分からないです。せっかくのHPのスタッフブログがユニットによってかなり回数が変わっています。事務の人がまとめて各ユニットの誕生日会や行事を紹介するのはどうでしょうか。	各フロアと総務部に広報委員を配置し、記事を分担して作成し、総務部職員がホームページに掲載しております。各フロアのブログ件数もばらつきがないよう確認しながら総務部と各ユニット・フロアで十分連携をとりながら情報提供するように努めてまいります。
ご要望	短時間でいいので、ウェルネスガーデンに散歩ができればなあ	最近では日中活動の一環として、ウェルネスガーデンへ散歩を行うこともございます。今後の動向にもよりませんが、ご家族様との散歩もしていただけるようになる際には、ご案内させていただきます。
職員との関わり	通常の面会ができないため、お名前がわからない職員の方が多くなりましたが、子供の日常に親身にかかわっていただきたきとも感謝しています。	直接お目にかかる機会が少なく、名前を覚えていただくの難しい状況ですが、1階事務室にて、職員の写真を準備しています。ご覧になれる場合は、遠慮なく事務室の職員へお尋ね下さい。
その他	良くしてもらっているのでも良いと思いますが、細かい事が見えないので分かりづらいです。	限られた時間での面会や電話でのやりとりなどが多くなり、日々の生活の様子もわかりづらくなっている中、アンケートにご協力いただきありがとうございます。また、今後とも利用者様の状況や施設内の様子を少しでもわかりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
	もっと・・・と思う気持ちはありますが、現状維持ができていいのいいのではと思っています。	
	今は分かりづらいことも多い。	
	わからないことが多く、申し訳ありません。よろしく願います。 顔を会わせられないのでいろいろなこと不明です。 自由に面会出来ない中、アンケートは正直難しいです。	

2021年度 ティンクルなごや長期入所者利用者満足度調査 結果 <選択式回答>

<実施期間> 令和3年9月15日～10月31日
<実施方法> 9月15日 ご自宅に郵送→郵送または事務室にて回収
<回答者数> 43家庭/74家庭中 (58.1%)

(*) わからない、無回答を除く人数

職種	質問	良い	まあまあ良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	令和3年度			令和2年度			前年度との差
									良い・ まあまあ良い (人数)	良い・ まあまあ良いの人数 /評価者数(*)	良い・ まあまあ良いの人数 /評価者数(*)	良い・ まあまあ良いの人数 /評価者数(*)	良い・ まあまあ良いの人数 /評価者数(*)	良い・ まあまあ良いの人数 /評価者数(*)	
看護師・ 生活支援員	職員の説明は分かりやすいですか	22	11	6	1	0	1	2	33	82.5%	91.1%	91.1%	5%以上増	△	△
	質問や意見を言いやすい雰囲気がありますか	19	11	10	0	1	1	1	30	73.2%	93.2%	93.2%	5%以上増	△	△
	ご家族の意見は尊重されていますか	18	10	7	0	2	4	2	28	75.7%	78.3%	78.3%	-	-	-
	ご家族への依頼が負担になることがありますか	19	11	9	1	1	0	2	30	73.2%	76.2%	76.2%	-	-	-
	支援の内容は職員間で情報共有されていると思いますか	13	10	9	1	3	6	1	23	63.9%	72.5%	72.5%	5%以上増	△	△
	職員は利用者さんをよく理解していると思われませんか	12	14	8	0	1	6	2	26	74.3%	73.2%	73.2%	-	-	-
医師	職員の説明は分かりやすいですか	20	10	6	1	0	2	4	30	81.1%	81.0%	81.0%	-	-	-
	質問や意見を言いやすい雰囲気がありますか	17	8	8	2	1	3	4	25	69.4%	82.9%	82.9%	5%以上増	△	△
	ご家族の意見は尊重されていますか	18	8	7	1	1	4	4	26	74.3%	81.0%	81.0%	5%以上増	△	△
	ご家族への依頼が負担になることがありますか	16	10	8	1	0	5	3	26	74.3%	76.2%	76.2%	-	-	-
	職員は利用者さんをよく理解していると思われませんか	14	6	9	3	0	6	5	20	62.5%	71.8%	71.8%	5%以上増	△	△
	職員の説明は分かりやすいですか	16	9	7	0	0	1	10	25	78.1%	82.5%	82.5%	-	-	-
リハビリ テーション 職員	質問や意見を言いやすい雰囲気がありますか	14	7	9	0	0	2	11	21	70.0%	82.1%	82.1%	5%以上増	△	△
	ご家族の意見は尊重されていますか	12	9	7	0	0	4	11	21	75.0%	79.5%	79.5%	-	-	-
	職員の説明は分かりやすいですか	22	9	4	0	0	0	8	31	88.6%	86.0%	86.0%	-	-	-
	質問や意見を言いやすい雰囲気がありますか	19	12	5	0	0	0	7	31	86.1%	88.1%	88.1%	-	-	-
	窓口や電話の対応は丁寧ですか	23	11	2	0	0	0	7	34	94.4%					
	各種のご案内は分かりやすく、適切な内容ですか	20	11	4	0	0	1	7	31	88.6%					
事務職員・ 相談員	ご家族への依頼が負担になることがありますか	21	9	4	0	0	1	8	30	88.2%	82.9%	82.9%	5%以上増	○	○
	ご家族の意見は尊重されていますか	20	8	4	0	0	3	8	28	87.5%	87.8%	87.8%	-	-	-
	(合計)	355	194	133	11	10	50	107	(平均)	78.1%	81.5%	81.5%	-	-	-

項目	質問	良い	まあまあ良い	普通	やや悪い	悪い	わからない	無回答	令和3年度			令和2年度			前年度との差
									良い・ まあまあ良い (人数)	良い・ まあまあ良いの人数 /評価者数(*)	良い・ まあまあ良いの人数 /評価者数(*)	良い・ まあまあ良いの人数 /評価者数(*)	良い・ まあまあ良いの人数 /評価者数(*)	良い・ まあまあ良いの人数 /評価者数(*)	
新型コロナ ウイルス 感染拡大への対応	施設での新型コロナウイルス感染拡大への対策などはいかがですか	25	10	4	1	0	1	2	35	87.5%	88.9%	88.9%	5%以上増	-	-
	利用者さんの生活の様子は伝わっていますか	15	11	9	5	0	1	2	26	65.0%					
	面会の方法(密越し・オンライン)はいかがですか	17	10	10	2	0	2	2	27	69.2%					
	面会の頻度(月2回の予約方式)についてはいかがですか	13	13	8	2	1	2	4	26	70.3%					
	面会の時間(10分間)についてはいかがですか	14	10	11	2	0	2	4	24	64.9%					
	個別支援計画の内容はいかがですか	13	10	6	1	0	4	9	23	76.7%	83.8%	83.8%	5%以上増	△	△
その他	(合計)	97	64	48	13	1	12	23	(平均)	72.2%	86.4%	86.4%	5%以上増	△	△

(*) わからない、無回答を除く人数

短期利用者満足度調査(フリー回答)

キーワード	回答内容	施設からの回答
予約方法 (事前予約)	コロナで数年利用していないが、数か月前からの予約が大変。	2か月前に皆様のご予約をいただき、調整した結果を踏まえ、施設内の体制を整え受入準備を行っています。お手数をおかけしますが、ご理解のほどよろしくお願い致します。
予約方法 (電話先着順)	電話がつながりません。	毎月1日の電話予約につきましては、3回線に対応しており、9時から応答させていただいていますが、電話がつながりにくくご不便、ご負担をおかけしており、申し訳ありません。 令和4年3月1日の5月利用分受付時から、インターネットによる予約を開始する予定で準備を進めております。 開始前には改めてお知らせいたしますので、インターネット予約にご不安な点がある方はお問い合わせくださいますようお願いいたします。
	予約の電話先着順は、無理があると思います。	
	ショートステイの予約の電話を考えてほしい。	
	予約をとるために電話をかける時間をさいても、電話がつながった時には30番目とかで結局予約がとれない。最近では時間をさくこともあきらめて、予約をとっていないです。(個室対応など)青い鳥も同じ状況なのに、何が違ってこれほど予約がとれないのでしょうか？子どももせっかくスタッフの方に慣れてきたところなので、非常に残念でなりません。予約がとれないことに対して、何か少しでも策を講じていただけではないのでしょうか？施設の方に申しあげても困られるとは思いますが、市の方に意見を上げていただけるとありがたいです。	
	利用させて頂きたくても予約がとれません。今後インターネット等での予約ができれば嬉しいです。1日の9:00~というのは、仕事をしているので難しい時が多いです。ご検討いただけると、今後利用させていただける回数が増えると思います。予約がとれず、1年以上利用できていない状況です。よろしくお願い致します。	
	利用手続き(予約の電話)が公平に思えない。 今の予約電話の方法で、毎月1日の9時にかけても、いつも既に話し中です。これでは約束の時間にかけた人は損です。先着順というには不公平な気がして、毎月1日に嫌な思いをします。ぜひ公平だと思われる方法で予約をしたいです。	
	なかなか利用ができない。	
	予約がとれなくて困っている。	
	・予約のしかた(朝一の競争はできないから) ・12月に母の法事があるが、電話できなかった。(10月の1日に)	

予約方法 (理由の確認)	コロナになり、全く今は利用しておりません。なので改善されたいばよいのですが、もし今まで同様、毎月1～10日TEL、その後に又連絡ありという方法でしたら、すぐに改善してほしいです。1日9時からTELしてきた方から予約を入れればよいと思います。 もともとディンクルの利用は、レスパイトでも仕事でもOKのはずと聞いています。しかし、いつ頃かそうではなく冠婚葬祭にと聞きました。冠婚葬祭は予定が立ちますが、逆に予定が立つからこそ、他の手段も考える余裕があります。しかし、仕事と介護(家族の)、家族のことは突然のことでも多々あります。なので、一番の理由は人それぞれのはずです。 電話回線は1回線と聞いていますが…1日につながついた時に(もちろん9時前からずっとコールしていでです)、すでに〇十番と言われると疑います。ぜひ、予約の取り方は、もっと改善すべきです！！ 今はコロナ禍で、色々などの業種も問題ありと思う。ただ予約の取り方は本当に問題ありと思う。働く親にとって9時は厳しい！！重心の親も働いている親！！母子、父子家庭もいます！！なので、とにかく1回線しかないというのが本当なら、ちゃんと順番に予約をしていけばよいのでは!? 理由を聞く必要はないと思います。どんな理由にしろ、子供を預けないといけない理由があるからお願しているのですから… 冠婚葬祭とウソをついている方はいませんか？真面目な方が損をするのは問題です！！！！コロナ禍だからこそ、インターネット予約、FAX予約など…本当に改善してほしいです！！	現在は先着順で受け付けておりますが、日程設定などの参 考としてご利用理由をお伺いしております。 なお、令和4年3月1日からの予約受付につきましても、受付 順に番号を決定し、その番号順に折り返し電話をさせていた だき、ご利用病棟と入退所日時を調整いたします。 当施設からの折り返し電話の際に、ご利用理由をお聞かせ いただきたいと思いますので、ご理解とご協力のほど、よろし くお願いいたします。
予約方法 (工事中の対 応)	予約を入れるのに、先着順なのは良いのですが…工事中で人数(泊まれる)が、1日1人しか入れないならば、2泊3日でお願した方が良いと思う。 理由… ①月に利用できる人数がどんどん減る。(本当にお願したい人が利用できない) ②1泊2日だとバタバタするが、2泊3日で充分ゆっくりにできる。 ③3泊4日とられてしまうと、週に1人？2人ですよね？月何人？少なすぎです！！	工事中はご利用人数を各病棟1名に制限させていただき、ご 不便をおかけいたしました。令和4年2月ご利用分からは順次 戻してまいります。
感染対策(全 般)	状況によりフレキシブルな対応をお願いします。緊急事態などの発令時は、現在の 対応(個室対応、保護者の出入り制限)は良い。解除時は、緩和対応が望ましい。収 束時は元に戻す。 予約がとれなく、本人がディンクルの方に馴れない。本人のショートに行くと、中の様 子が分からない。世間がコロナになってから、利用する機会が少なくなった。 コロナが終息するまでショートに行けない。もっといろいろ工夫すれば、多くの利用者 が利用できると思います。他の施設は、色々行動しています。	感染動向を見極めながら、短期入所の受け入れにつきまして も対応を検討させていただいております。変更の際には順次 ご案内してまいりますので、ご理解いただきますようお願いい たします。

感染対策(全般)	コロナ禍は(今の対応で)よいと思っています。連絡票に様子を記入していただくので、どんなふうに過ごしていたのか分かり、安心できています。 先日、青い鳥の病棟クラスターがありました。職員の方々のPCR検査は定期的に行ってほしいと思います。 親が病棟に入れなくても、コロナの感染が出たりした場合は、スタッフがなっていたことになるわけになりますよね。そういう場合、シフトをどうしても理由で利用したい場合、利用停止になった場合、どうするかを知りたいです。	職員の定期的なPCR検査は実施しておりますが、日頃の感染対策を徹底し、陽性者、濃厚接触者の発生があった場合には関係者の検査や自宅待機等の対応をとらせていただいています。
個室対応による予約枠の減少	個室だとレスパイト人数の受け入れが少なくなると考えた方がよい。	感染対策徹底のため、個室での受け入れとさせていただいており、利用理由に関わらず、短期入所をご利用いただける方の人数を制限させていただいております。今後も感染動向を見極めながら対応を検討させていただきます。
個室での過ごし方	個室対応になることは仕方がないと思いますが、スタッフの目が行き届くのか？という点に不安を感じ、なかなか利用に至りません。	
	個室対応は必要な事だと理解しています。ただ、ケア以外の何気ない会話や顔を合わせる機会が少なくなってしまうので、ショートステイ中とはとても退屈なようです。	
	一人の時間が長いのは、本人にとって楽しみもなく、刺激がなくて一日のリズムがつかみにくく、帰ってからリズムを作るのが大変です。	
	現在、コロナと工事中のことで利用を控えています。そろそろ利用していいと思っています。個室利用でも楽しく過ごせる環境だと思っています。	
	個室のため、一人でいることが多いと思うので、本人の楽しみはないのでは…と思います。	
保護者の出入り制限	病棟まで入れないのは仕方ないかも。個室対応もいつまで続くのか、本人は楽しめているのか、不安はあります。	
	個室化は良いことですが、1日中個室から出ることができないと退屈し楽しみもないので、配慮をお願いします。保護者の出入り制限はやむを得ないと思います。	
	個室対応で、目が届いていることは良い。保護者のワクチン、抗体検査によって会えたら良いです。	
1階での引き渡し、申し送り対応	保護者は入らない方がよいと思う。気になる人だけ上げれば、そちらの方がスムーズ。	今後の感染状況が見通せない中、現状では、ワクチン接種済みか否かに関わらず、保護者様の出入りは1階までとさせていただきます。ご心配をおかけいたしますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

1階での引き渡し、申し送り対応	施設内の様子を見ることができなく残念ですが、引き渡し等は短時間で終わるので楽に感じています。個室対応が、いつまで継続されるのか不安です。	1階では、入所前数日の体調確認、前回ご利用時から変化があったこと、特別な持ち物等について直接保護者の方(または同行されている方)から伺っています。その他につきましては、利用者様に病棟へ上がっていただいた後、連絡票と持ち物を照合し、ボディチェックをさせていただいております。
1階での引き渡し、申し送り対応	待ち合いでの引き渡しは、短時間で良い面もありますが(用事があったて預けているので、早く引き渡せると助かります)、荷物の事などわかるかなあ？と不安もあります。(以前は棚に入れながら説明ができたので)しっかりと目が行き届いていれば、個室、保護者の出入り制限も安心かと思えます。	1階では、入所前数日の体調確認、前回ご利用時から変化があったこと、特別な持ち物等について直接保護者の方(または同行されている方)から伺っています。その他につきましては、利用者様に病棟へ上がっていただいた後、連絡票と持ち物を照合し、ボディチェックをさせていただいております。
1階での引き渡し、申し送り対応	コロナになり、全く利用していない(利用したい日はあるが、もっと必要な方がいるのでは？と考えるため、何とかヘルパーさんの力をお借りしたり、自分が勤務交代するなどしている)ため、わからないが、その対応で正しいと思う。しかし、保護者を中心へ入れない分、今まで以上にきめ細やかな連絡を保護者へ伝えてほしいと皆さん思っているのでは？？話ができるひとはよいが、話せない保護者の方へは、より配慮が必要と思う。	1階では、入所前数日の体調確認、前回ご利用時から変化があったこと、特別な持ち物等について直接保護者の方(または同行されている方)から伺っています。その他につきましては、利用者様に病棟へ上がっていただいた後、連絡票と持ち物を照合し、ボディチェックをさせていただいております。
申し送り時間	申し送りや持ち物員数チェックなどで、入館から20分以上かかることがあり、30分くらいいかかったこともある。もっと短くなるようにしてほしい。	申し送りや持ち物員数チェックなどで、入館から20分以上かかることがあり、30分くらいいかかったこともある。もっと短くなるようにしてほしい。
申し送り時間	受入れ時、もう少し時間を短くできると助かります。	申し送りや持ち物員数チェックなどで、入館から20分以上かかることがあり、30分くらいいかかったこともある。もっと短くなるようにしてほしい。
申し送り時間	入所時、申し送りに時間がかかるのは、過去の支援情報が共有されていない点があり、一からの説明になることがあるため。	申し送りや持ち物員数チェックなどで、入館から20分以上かかることがあり、30分くらいいかかったこともある。もっと短くなるようにしてほしい。
室温管理	保護者が病室の中に入らないことで室温や部屋の様子が分からないので、体温調節の具体的な対応が取りづらいです。	居室内の室温は冬:19～23度、夏:24～26度、湿度は年間を通して45～70%で調整されています。体温調整が難しい利用者様もいらっしゃるかと思いますので、ご不明な点がございましたら職員までお尋ね下さい。
室温管理	自宅の室温と病室の室温が異なるので、自宅と同じ対応をしていると身体が冷えすぎたり熱くなりすぎたりします。	居室内の室温は冬:19～23度、夏:24～26度、湿度は年間を通して45～70%で調整されています。体温調整が難しい利用者様もいらっしゃるかと思いますので、ご不明な点がございましたら職員までお尋ね下さい。
荷物の預かり	個人の物を持ち帰るのは当たり前なのですが、定期的に利用させて頂いているので、何とか重たい物だけ置いてもらいたいと思います。本人の思いと母の体力にズレができてます。	毎回のご利用の都度、様々な物をご用意いただくのはご負担かと思いますが、お荷物をお預かりすることはお断りしております。ご理解とご協力をお願いいたします。
連絡票	連絡票の下の方が切れていて読めないときがあります。	大変申し訳ございません。連絡票をお渡しする時は入力漏れや印刷切れ等がないかを確認してお渡しいたします。
職員の対応	電話のやりとりで、職員間の連絡がされていないのかな？と思うことがあります。	ご心配をおかけする場面があったかと存じます。職員間の情報共有、統一した対応ができるよう努めてまいります。
職員の対応	職員の方により異なります。	事前に聞き取りしました食事内容でご利用しておりますが、食事量などの変更は可能ですのでご相談くださるようお願いいたします。
食事	胃瘻からペースト食を入れていただいているのですが、シャビシャビすぎて腹持ちしないようです。もう少し工夫していただけないでしょうか。	事前に聞き取りしました食事内容でご利用しておりますが、食事量などの変更は可能ですのでご相談くださるようお願いいたします。
食事	胃瘻、気管切開をしています。誤えんがなくなつたため、口からの食事摂取をしています。楽しみ程度で30分限定など、もう少し経口摂取できるよう、配慮していただけるとありがたいです。ただでさえ楽しみが少ない環境ですので。	食事内容や摂取状況に変化がある場合は主治医とご相談のうえ、入所担当へご連絡ください。情報をもとに短期入所ご利用中の対応を検討させていただきます。

<その他(感染対策)>

- ・今はそれで(現在行っている対策で)よいと思います。
- ・コロナが落ち着き普通に帰ったらお願いしようとは思っています。
- ・施設内で感染が広がるのが一番怖いので、安心して預けられるためにも感染防止の対応をしっかりお願いしたいです。できることは協力していきたいと思っています。早くコロナ収束してほしいですね。
- ・(個室対応や出入り制限は)現況では、当然のことと承知しています。
- ・(個室対応や出入り制限は)仕方ないと思います。
- ・(個室対応や出入り制限は)よいかと思います。
- ・以前はいつでも会いに行けたので、さみしい気持ちもありますが、感染防止は大切な事だと理解しています。
- ・(感染対策については)コロナになってから利用できていないのでわからない。
- ・いつもありがとうございます。この対応を、ずっと継続してほしいです。
- ・感染予防の配慮は当然だと思います。
- ・(今の方法で)良いと思います。

<その他(謝辞)>

- ・現在2か所シヨートを利用していますが、ティンクルは本人が大好きで喜んで行きます。もう一か所はいつも「・・・」です。今後何年先になるかわかりませんが、入所も考慮しています。そのために月に1回の利用を継続できたらと思っています。
- ・利用中、食事ができるようになり、ありがとうございます。楽しんで次の利用が気になり、帰宅時は騒がしくてすみません。
- ・いつもありがとうございます。
- ・本人たちも慣れてきたみたいで、寝てなくてもげっそりした顔をせず、さわやかに下に降りてくるので安心できています。
- ・いつもお世話になっており、感謝しております。今はコロナの事があり、利用させていただきたい思いはいっぱいなのですが、本人も在宅にてがんばっております。
- ・感染対策など徹底いただき、受け入れありがとうございます。
- ・とても良くして頂けて感謝しています。皆さん優しくて、大切な子供を預ける上で安心できます。
- ・看護師さんに優しい言葉をかけていただいて、本当に嬉しかったです。
- ・利用できなかった月などに、キャンセルがあった時に声をかけていただき、利用できるのはありがたいです。

<その他>

- ・家庭内での緊急時や介護者の病氣などの時は、柔軟に対応して頂けると助かりますのでよろしくお願いします。(今までではなかったのですが)
- ・もう1年以上利用できていないので、本人への対応も変わってきているので、何もアンケートには答えられません。きつとまた、最初からの本人へのどんな風な対応を説明することになると思います。

<実施期間> 令和3年9月28日～ 11月8日
<実施方法> 9月28日 各家庭に郵送→郵送または事務室にて回収
<回答者数>42 家庭/ 114 家庭中(36.8 %)

質問	令和3年度										令和2年度		前年度との差
	良い	まあまあ良い	良い・まあまあ良い(人数)	良い・まあまあ良いの人数 評価者数(*) (%)	良い・まあまあ良いの人数 評価者数(*) (%)	わからない	無回答	悪い	やや悪い	どちらでもない	まあまあ良い	良い・まあまあ良いの人数 評価者数(*) (%)	
窓口や電話の対応は丁寧ですか	23	7	7	0	0	1	4	0	0	7	30	81.1%	75.5% ○
予約の手続きはスムーズに行われていますか	14	6	7	2	7	2	4	0	0	7	20	55.6%	48.9% ○
施設からの連絡はスムーズに行われていますか	18	9	9	1	0	1	4	0	0	9	27	73.0%	60.4% ○
入所・退所時の手続きはスムーズに行われていますか	16	11	6	2	1	2	4	0	0	6	27	75.0%	73.9% —
ご家族への依頼が負担になることがありますか	11	9	11	1	0	3	7	0	0	9	20	62.5%	59.5% —
職員の説明は分かりやすいですか	20	9	8	0	0	1	4	0	0	9	29	78.4%	74.5% —
質問や意見を言いやすい雰囲気がありますか	20	9	6	1	0	2	4	0	0	6	29	80.6%	78.3% —
支援の内容は職員間で情報共有されていると思いますか	7	7	13	4	1	5	5	0	0	7	14	43.8%	57.5% △
職員は利用者さんをよく理解していると思いますか	10	6	11	1	1	8	5	0	0	6	16	55.2%	56.8% —
利用中の施設からの連絡は適切に行われていますか(タイミング・内容など)	16	10	8	1	0	3	4	0	0	8	26	74.3%	68.9% ○
ご利用中のケアの内容はいいですか	14	10	8	3	0	3	4	0	0	8	24	68.6%	72.1% —
食事・栄養の内容はいいですか	12	6	10	1	1	7	5	0	0	6	18	60.0%	71.1% △
退所時の報告や連絡票の内容はいいですか	18	11	5	1	1	2	4	0	0	5	29	80.6%	73.9% ○
ショートステイ利用後のご本人の様子はいいですか	15	9	7	4	1	2	4	0	0	7	24	66.7%	69.6% —

(* わからない・無回答を除く人数)

利用者本人について			令和3年度	令和2年度
日中の主な過ごし場所 (*重複回答)	在宅		13	13
	学校		9	12
	訪問教室		0	0
	生活介護		21	22
	その他		1	4
利用予定・理由				
今後の利用予定 (*重複回答)	月1回以上		24	22
	年に数回		11	16
	年1. 2回		4	5
	万が一		2	5
	わからない		0	3
利用理由 (*重複回答)	利用しない		0	2
	レスパイト(休養)		34	34
	介護者の用事		18	24
	きょうだいの行事・用事		16	19
	介護者の仕事		6	6
利用理由 (*重複回答)	介護者・家族の病気		22	24
	冠婚葬祭などの行事		22	24
	その他緊急時		23	18
	お試し		3	2
	その他		1	2
他施設のショート利用状況	している		19	19
	していない		23	29
	無回答		0	1